

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problems Mailbox.**

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

日 本 国 特 許 庁

05.03.01

PATENT OFFICE  
JAPANESE GOVERNMENT

REC'D 16 MAR 2001

WIPO

PCT

JP01/1692

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日

Date of Application:

2000年 4月11日

出 願 番 号

Application Number:

特願2000-115772

出 願 人

Applicant (s):

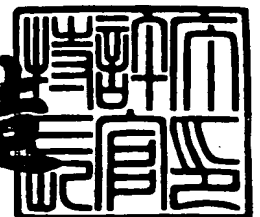
ソニー株式会社

PRIORITY  
DOCUMENTSUBMITTED OR TRANSMITTED IN  
COMPLIANCE WITH RULE 17.1(a) OR (b)

2001年 1月12日

特許庁長官  
Commissioner,  
Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2000-3111417

【書類名】 特許願

【整理番号】 0000399002

【提出日】 平成12年 4月11日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 H04N 1/32

【発明者】

【住所又は居所】 東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社  
内

【氏名】 石井 美留香

【発明者】

【住所又は居所】 東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社  
内

【氏名】 丹下 明

【特許出願人】

【識別番号】 000002185

【氏名又は名称】 ソニー株式会社

【代表者】 出井 伸之

【代理人】

【識別番号】 100067736

【弁理士】

【氏名又は名称】 小池 晃

【選任した代理人】

【識別番号】 100086335

【弁理士】

【氏名又は名称】 田村 榮一

【選任した代理人】

【識別番号】 100096677

【弁理士】

【氏名又は名称】 伊賀 誠司

【先の出願に基づく優先権主張】

【出願番号】 特願2000- 81859

【出願日】 平成12年 3月17日

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 019530

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9707387

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 投資システム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 少なくとも 1 つの投資対象データを蓄積するサーバ装置と、  
上記サーバ装置にアクセスして、上記投資対象データをダウンロードするとともに、利用者の操作に応じた投資データを上記サーバ装置に送信する少なくとも 1 つの第 1 の端末装置とを備える投資システム。

【請求項 2】 上記サーバ装置は、上記投資対象データと共に、上記投資対象データの株価データを上記第 1 の端末装置に送信し、上記第 1 の端末装置は、利用者の操作に応じた購入株数データを上記サーバ装置に送信することを特徴とする請求項 1 記載の投資システム。

【請求項 3】 さらに、第 2 の端末装置を備え、  
上記サーバ装置は、上記第 1 の端末装置から送信されてくる購入株数データを累積し、得られる総株数が所定値を超えたときに、株価、総株数、投資人数のうちの少なくとも 1 つからなる通知データを上記第 2 の端末装置に送信することを特徴とする請求項 2 記載の投資システム。

【請求項 4】 上記投資対象データを上記サーバ装置にアップロードする少なくとも 1 つの第 3 の端末装置を備え、

上記サーバ装置は、上記第 3 の端末装置からアップロードされてきた投資対象データを蓄積すること特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項記載の投資システム。

【請求項 5】 上記投資対象データは、楽曲データであり、上記第 1 の端末装置は、上記サーバ装置からダウンロードされる楽曲データを再生して、楽曲信号を出力する楽曲データ再生手段を備えることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項記載の投資システム。

【請求項 6】 上記投資対象データは、アーティストデータであり、上記第 1 の端末装置の利用者は、上記アーティストデータに基づいて、上記株を購入することを特徴とすることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項記載の投資システム。

【請求項 7】 コンテンツ製作者が製作したコンテンツを蓄積するメモリ手段と、

上記メモリ手段に蓄積されたコンテンツから所望のコンテンツを選択する操作手段と、

上記操作手段にて選択されたコンテンツの一部又は全部を試すための告知手段と、

上記告知手段にて告知されたコンテンツに対して利用者が気の場合には上記コンテンツを記録媒体にダウンロードする記録手段と、

上記ダウンロードを行う際に利用者による第 1 の金額の課金処理を行うか第 1 の金額より多い第 2 の課金処理を行うかの選択によって課金処理を行う課金処理手段とを備える投資システム。

【請求項 8】 利用者によって第 2 の課金処理が選択された場合には後日対価を利用者に対して納入する処理手段を更に備えてなる請求項 7 記載の投資システム。

【請求項 9】 上記処理手段はコンテンツの売上に応じて所定の対価を利用者に対して納入することを特徴とする請求項 8 記載の投資システム。

【請求項 10】 上記対価は金銭であることを特徴とする請求項 8 記載の投資システム。

【請求項 11】 上記対価は上記コンテンツ製作者が新たに製作したコンテンツを無償で提供することを特徴とする請求項 8 記載の投資システム。

【請求項 12】 上記対価は上記コンテンツ製作者の関連商品であることを特徴とする請求項 8 記載の投資システム。

【請求項 13】 上記対価は上記コンテンツ製作者のコンテンツ発表の催しのチケットを無償で提供することを特徴とする請求項 8 記載の投資システム。

【請求項 14】 上記処理手段はコンテンツに対する投資の人気度に応じて所定の対価を利用者に対して納入することを特徴とする請求項 7 記載の投資システム。

【請求項 15】 コンテンツは、文章、音楽、映像の何れかであることを特徴とする請求項 7 記載の投資システム。

【請求項16】 告知手段は、紙、スピーカ、CRTモニタの何れかであることを特徴とする請求項7記載の投資システム。

【請求項17】 上記コンテンツを記録する記録媒体は、紙、光ディスク、不揮発性半導体メモリの何れかであることを特徴とする請求項7記載の投資システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術の分野】

本発明は、インターネット等のネットワークを利用した投資システムに関する。

【0002】

【従来技術】

無名のアーティストやデビュー前のアーティストは、自分が作った曲を発表する機会やデビューする機会が非常に少ない。例えば街頭で自作の曲を歌ってアーティストへの道を模索する人は昔から多くいるが、それらの人々は、一度のに一箇所では演奏することができず、すなわち演奏の場が物理的且つ時間的に限られており、大勢の人に一度に自分をアピールすることができなかった。

【0003】

一方、ある視聴者が、例えば「このアーティスト又はこの曲はいいなあ」と思っていて、何年か先にそのアーティストや曲が大人気となったとき、その視聴者は、先見の明があったにも拘わらず、何ら見返りを得ることはなかった。

【0004】

インターネットが普及した現在、アーティストや曲を投票して、その人気ランキングを公表するホームページが設けられている。しかし、これらのホームページでは、単なる人気投票を行うだけであり、ランキング一位を獲得したアーティストは、一位になったことに対しての満足感を得られるものの、実際の利益、例えば金銭的な利益等を得ることはなく、また、そのアーティストに投票した人も、その見る目に対しての満足感を得られるものの、実際の利益は得ることができなかった。



## 【0005】

また、音楽、漫画、絵画、小説、映画等のコンテンツを自主制作する人口は増えているが、コンテンツを公表する場所や時間は限られており、また、公表されたコンテンツに対して適切な評価を行える人は少ない。また、オーディション番組、雑誌でのコンテンツの投稿等の機会はあるが、制作会社及びレコード会社等の審査で良い評価が得られても、必ずしもデビュー後に大衆に受け入れられるとは保証されない。更に、音楽、漫画、絵画、小説、映画等のコンテンツを制作する個人の才能（タレント）に対して投資を行うという考え及びそのような投資の場も存在しない。

## 【0006】

## 【発明が解決しようとする課題】

本発明は、上述したような実情に鑑みてなされたものであり、本発明の目的は、インターネット等のネットワークを利用して、例えばアーティスト、曲等に投資することができる新規な投資システムを提供することである。

## 【0007】

また、本発明の目的は、音楽、漫画、絵画、小説、映画等の作品を制作するアーティストに、そのコンテンツ、すなわち作品を公表する場や機会を与えるとともに、コンテンツの販売際に、コンテンツに対する通常の代金の支払いと、投資に対する支払いとを可能にした投資システムを提供することである。

## 【0008】

更に、本発明の目的は、コンテンツの売上と投資金額に応じて固定の対価の支払いをすることによって、株価指数に基づく変動の対価の演算を行う必要がなく、負荷の軽い投資システムを提供することである。

## 【0009】

## 【課題を解決するための手段】

本発明に係る投資システムは、上述した課題を解決すべく、少なくとも1つの投資対象データを蓄積するサーバ装置と、サーバ装置にアクセスして、投資対象データをダウンロードするとともに、利用者の操作に応じた投資データをサーバ装置に送信する少なくとも1つの第1の端末装置とを備える。

【 0 0 1 0 】

また、本発明に係る投資システムは、コンテンツ製作者が製作したコンテンツを蓄積するメモリ手段と、メモリ手段に蓄積されたコンテンツから所望のコンテンツを選択する操作手段と、操作手段にて選択されたコンテンツの一部又は全部を試すための告知手段と、告知手段にて告知されたコンテンツに対して利用者が気に入る場合にはコンテンツを記録媒体にダウンロードする記録手段と、ダウンロードを行う際に利用者による第 1 の金額の課金処理を行うか第 1 の金額より多い第 2 の課金処理を行うかの選択によって課金処理を行う課金処理手段とを備える。

【 0 0 1 1 】

【発明の実施の形態】

以下、本発明に係る投資システムについて、図面を参照しながら説明する。

【 0 0 1 2 】

図 1 は、本発明を適用した投資システムの構成を示すブロック図である。この投資システムは、図 1 に示すように、少なくとも 1 つの投資対象データを蓄積するサーバ装置 1 0 と、サーバ装置 1 0 にアクセスして、投資対象データをダウンロードするとともに、利用者の操作に応じた投資データをサーバ装置 1 0 に送信する少なくとも 1 つの投資クライアント装置 2 0 とを備える。

【 0 0 1 3 】

また、投資システムは、図 1 に示すように、株価、総株数、投資人数等の通知データをサーバ装置 1 0 から受信する音楽事務所クライアント装置 3 1 と、投資対象データをサーバ装置 1 0 にアップロードする少なくとも 1 つのアーティストクライアント装置 3 2 を備える。

【 0 0 1 4 】

サーバ装置 1 0 は、図 1 に示すように、複数の投資対象データ、例えば個人の楽曲データ等を蓄積している記憶部 1 1 と、記憶部 1 1 に格納されているデータをエンコード、デコードするコーデック 1 3 と、楽曲データ等を投資クライアント装置 2 0 に送信するためのインタフェース 1 3 とを備える。

【 0 0 1 5 】

また、サーバ装置 1 0 は、通常のコンピュータと同様に、リードオンリメモリ

(以下、ROMという。)14と、ランダムアクセスメモリ(以下、RAMという。)15と、中央処理装置(CPU)からなる制御部16とを備える。ROM14には、サーバ装置10の動作を制御するプログラムが記憶されており、このプログラムは、一旦RAM15にロードされて、制御部16で実行されることにより、装置全体の動作が制御される。そして、サーバ装置10には、例えば音楽事務所やレコード会社に所属していない個人のアーティストを集めたホームページ(HP)が開設されており、投資クライアント装置20からそのホームページがアクセス、すなわち閲覧して、投資対象データがダウンロードできるようになっている。

## 【0016】

投資クライアント装置20は、ネットワーク、例えばインターネット1を介してホームページにアクセスすることができるパーソナルコンピュータ(以下、PCという。)、セットトップボックス、携帯情報端末装置等からなる。具体的には、例えばPCからなる投資クライアント装置20は、図1に示すように、インターネット1を介してサーバ装置10にアクセスして、投資対象データをダウンロードするためのインタフェース21と、ダウンロードされた投資対象データや、各種アプリケーションプログラムが記録されているハードディスク装置(以下、HDDという。)22と、ダウンロードされた投資対象データ内に含まれる楽曲データをデコードするデコーダ23と、デコードされた楽曲データをアナログの音声信号に変換するデジタル/アナログ変換器24と、音声信号を音響に変換するスピーカ25とを備える。

## 【0017】

また、投資クライアント装置20は、図1に示すように、このPCを操作するための操作部26と、閲覧したホームページ等を表示する表示部27と、このPCの動作を制御するプログラムを記憶しているROM28と、HDD22に記録されているアプリケーションプログラム等を一旦読み込むRAM29と、アプリケーションプログラム等を実行するマイクロプロセッサ(以下、MPUという。)30とを備える。

## 【 0 0 1 8 】

投資クライアント装置 2 0 は、例えば個人の利用者宅にそれぞれ設置されており、変復調器及び電話回線、ターミナルアダプタ及び I S D N 回線、C A T V 回線等を介して、インターネット 1 内のプロバイダに接続されている。H D D 2 2 には、オペレーティングソフトウェア（O S）と、例えば閲覧ソフトウェア、電子メールプログラム、プロトコル等の各種アプリケーションプログラムとが記録されており、これらのプログラムは、必要に応じて R A M 2 2 に読み込まれ、M P U 3 0 によって実行される。例えば、利用者がサーバ装置 1 0 に開設されたアーティストのホームページを閲覧するときは、利用者が操作部 2 6 のキーボードやマウスを用いて、そのホームページの U R L （uniform Resource Locator）の入力操作等を行うと、それに対応したブラウザ、T C P / I P プロトコル等が実行され、その結果、投資クライアント装置 2 0 は、インターネット 1 を介して、サーバ装置 1 0 にアクセスして、そのホームページを表示部 2 7 に表示する。なお、投資クライアント装置 2 0 は、具体例で述べた P C ではなく、後述するように K I O S K 端末装置等の専用の端末装置や携帯電話機であってもよい。

## 【 0 0 1 9 】

音楽事務所クライアント装置 3 1 は、例えば投資クライアント装置 2 0 と同様に P C から構成され、複数の音楽事務所にそれぞれ設定されている。音楽事務所クライアント装置 3 1 は、サーバ装置 1 0 から送られてくる株価、総株数、投資人数等の通知データを受信して、その内容を表示する。なお、音楽事務所クライアント装置 3 1 は、投資クライアント装置 2 0 と同様に構成されているので、その詳細については説明を省略する。

## 【 0 0 2 0 】

アーティストクライアント装置 3 2 は、例えば投資クライアント装置 2 0 と同様に P C から構成され、例えば音楽事務所に無所属のアーティスト宅にそれぞれ設定されている。音楽事務所に無所属等の無名のアーティストやデビュー前のアーティストは、自演した音楽を楽曲データとしてアーティストクライアント装置 3 2 に取り込む。そして、アーティストが上述したホームページ又は専用のホームページにアクセスする操作を行うと、アーティストクライアント装置 3 2 は、

そのホームページにアクセスして、ホームページを画面に表示する。その後、アーティストがアップロードの操作を行うと、アーティストクライアント装置32は、そのアーティストの楽曲、プロフィール等のアーティストに関するデータをサーバ装置10にアップロードする。そして、サーバ装置10は、アーティストに関するデータを、例えばハードディスク装置からなる記憶部11に格納する。なお、アーティストクライアント装置32は、投資クライアント装置20と同じ構成を有するので、その詳細については説明を省略する。

#### 【0021】

次に、上述のように構成される投資システムの動作について、図2及び図3に示すフローチャートを参照しながら説明する。

#### 【0022】

ステップS1において、上述したように、利用者であるアーティストが、そのキーボード及びマウスを用い、例えば様々な方法で自演して得られる楽曲データ、容姿、年齢、プロフィール、電子メールのアドレス等のアーティストに関するデータをアップロードする操作を行うと、アーティストクライアント装置32は、アーティストに関するデータを、インターネット1を介してサーバ装置10にアップロードする。

#### 【0023】

ステップS2において、サーバ装置10は、アップロードされてきた楽曲データ等を受信し、ステップS3において、サーバ装置10は、それぞれのアーティストから送られてきたデータを、例えば国別、ジャンル別等で分類し、投資対象データとしてホームページに登録する。

#### 【0024】

ステップS4において、利用者がそのホームページにアクセスする操作を行うと、投資クライアント装置20は、サーバ装置10の利用者が所望するジャンルのホームページにアクセスして、表示部27に表示する。

#### 【0025】

利用者は、表示されたホームページを用いて、将来性があると思うアーティストや、自分の好みのアーティストを見つけ、ダウンロード操作を行う。すなわち

、ステップ S 5 において、投資クライアント装置 2 0 は、利用者がダウンロード操作を行ったかを判定し、該当する（Y E S）ときはステップ S 7 に進み、該当しない（N O）ときは、例えばインターネット 1 から接続を解除するログアウト処理等の利用者の操作に応じた他の処理を行う。

## 【 0 0 2 6 】

ステップ S 6 において、投資クライアント装置 2 0 からの要求に応じ、サーバ装置 1 0 は、投資クライアント装置 2 0 の利用者が所望するアーティストの楽曲データ、プロフィールデータ等と、現在設定されている株価データを投資クライアント装置 2 0 に送信し、投資クライアント装置 2 0 は、ステップ S 7 において、それらのデータを受信し、その H D D 2 2 に一旦記録するとともに、画面に表示する。また、投資クライアント装置 2 0 は、利用者が楽曲を聴くために楽曲データを再生する操作を行うと、上述したように、デコーダ 2 3 は、楽曲データをデコードし、D / A 変換器 2 4 は、デコードされた楽曲データをアナログ信号に変換し、スピーカ 2 5 は、楽曲データに基づいた音楽を出力する。かくして、利用者が選択したアーティストの楽曲が再生される。

## 【 0 0 2 7 】

そして、利用者は、再生された楽曲を試聴して、そのアーティストに将来性がある、又はその楽曲がヒットするかを判断し、そのアーティスト又は楽曲に投資するか、また投資するときは幾ら投資するかを決断する。すなわち、ステップ S 8 において、投資クライアント装置 2 0 は、利用者が投資操作を行ったかを判定し、該当するときはステップ S 9 に進み、該当しないときは、例えばログアウト処理等の利用者の操作に応じた他の処理を行う。

## 【 0 0 2 8 】

ステップ S 9 において、投資クライアント装置 2 0 は、利用者が操作した購入株数又は投資金額のデータ、利用者の識別子（I D）等のデータをサーバ装置 1 0 に送信し、サーバ装置 1 0 は、ステップ S 1 0 において、それらのデータを受信する。

## 【 0 0 2 9 】

以上のような動作が、複数の投資クライアント装置 2 0 とサーバ装置 1 0 で行

われ、ステップS11において、サーバ装置10は、複数の投資クライアント装置20、すなわちインターネットを利用した複数の投資家からの購入株数データ等を、所定の期間、例えば数ヶ月間受信し、投資家の人数、投資金額、株価の管理を行う。ここで、サーバ装置10は、例えば、投資申し込みが多いアーティストや楽曲に対しては、株価を高く設定するようにする。また例えば、投資した利用者が株を売りたいときには、現在の株価で買い取るようにしてもよい。すなわち、サーバ装置10は、実際の株式と同じように、アーティストの株や楽曲の株の売買を行うように構成してもよい。また、アーティストに投資した投資クライアント装置20の利用者は、ホームページに公開されたアーティストの電子メールのアドレス宛に電子メールを送信して、アーティストと交流し、アーティストは、自分に投資した人に直接自分をアピールするようにしてもよい。

#### 【0030】

次に、図2に示すステップS12において、サーバ装置10は、例えば投資家の人数が所定の閾値を超えたかを判定し、該当するときはステップS13に進み、該当しないときはステップS12を繰り返す、すなわち投資家の人数が所定の閾値を超えるまで待機する。ステップS13において、サーバ装置10は、投資家の人数が所定の閾値を超えたアーティスト名を、例えば契約している複数の音楽事務所の音楽事務所クライアント装置31に通知し、音楽事務所クライアント装置31は、ステップS14において、それを受信する。すなわち、この実施例では、投資家が多いアーティストは、今後人気が出ることがことが予測され、そのアーティストを音楽事務所クライアント装置31に通知するようにしている。なお、投資家人数が所定の閾値を超えるとときに通知する代わりに、投資総額又は株価が閾値を超えたとき、あるいは投資人数、投資金額及び株価の組合せが閾値を超えたときに、その旨を音楽事務所クライアント装置31に通知するようにしてもよい。

#### 【0031】

ステップS15において、サーバ装置10は、音楽事務所にアーティストを通知したことを、ホームページに公表し、投資クライアント装置20の利用者は、そのホームページを閲覧することによって、アーティストが音楽事務所に紹介さ

れたことを知ることができる。

【0032】

一方、音楽事務所クライアント装置31の担当者が、サーバ装置10から通知されたアーティストの楽曲データ、すなわち投資対象データをダウンロードする操作を行うと、ステップS16において、サーバ装置10は、投資対象データを送信し、ステップS17において、音楽事務所クライアント装置31は、その投資対象データをダウンロードして、そのHDDに一旦記録する。そして、音楽事務所の担当者が楽曲を聴くために楽曲データを再生する操作を行うと、音楽事務所クライアント装置31は、上述した投資クライアント装置20と同様に、そのスピーカ25から楽曲データに基づいた音楽を出力する。かくして、担当者は、サーバ装置10から通知されたアーティストの楽曲を聴くことができ、そのアーティストをデビューさせるか否かを判断することができる。

【0033】

音楽事務所の担当者は、楽曲を聞いて、そのアーティストに将来性があるか否かを専門家の目で判断することができる。そして、将来性があり、そのアーティストを自分の事務所からデビューさせようと決断し、その操作を行うと、ステップS18において、音楽事務所クライアント装置31は、アーティストをデビューさせる予定があることを、サーバ装置10に送信し、ステップS19において、サーバ装置10は、それを受信するとともに、デビュー申込みがあったことを、アーティストクライアント装置32に送信する。アーティストクライアント装置32は、ステップS20において、デビュー申込みを受信する。なお、例えば、複数の音楽事務所からデビューの申込みがあったときには、サーバ装置10の主催者は、オークションをサーバ装置10上に開設して、一番高い値をつけた音楽事務所が落札するようにしてもよい。また、例えば、アーティストクライアント装置32へのデビュー申込みの送信は、音楽事務所クライアント装置31から直接アーティストクライアント装置32に行うようにしてもよい。

【0034】

ステップS21において、サーバ装置10は、デビューの予定があることをそのホームページで公表し、投資クライアント装置20の利用者は、そのホームペ



ージを閲覧することによって、アーティストが音楽事務所からデビューする予定があることを知ることができる。

【0035】

ステップS22において、アーティストクライアント装置32のアーティストがデビューを承諾する操作又は不承諾の操作を行うと、アーティストクライアント装置32は、その旨の内容をサーバ装置10に送り、サーバ装置10は、ステップS23において、承諾又は不承諾の旨を受信するとともに、その内容を音楽事務所クライアント装置31に送信し、音楽事務所クライアント装置31は、ステップS24において、それを受信する。なお、音楽事務所クライアント装置31への承諾又は不承諾の旨の送信は、アーティストクライアント装置32から直接音楽事務所クライアント装置31に行うようにしてもよい。

【0036】

ステップS25において、サーバ装置10は、アーティストがデビューすることを承諾したかを判定し、該当するときはステップS26に進み、該当しないときは、当該アーティストに対する処理を終了し、他の処理を行う。ステップS26において、サーバ装置10は、アーティストがデビューすることを承諾した旨を、そのホームページに公表し、ステップS27において、例えばデビューするアーティストの株価を高くして、新たな投資を募集する。なお、例えば、上述の実施例では、アーティスト自体を投資の対象としたが、楽曲自体を投資の対象としてもよい。

【0037】

上述では、個人のアーティストやその楽曲を投資の対象とした実施例について説明したが、次に、例えば音楽事務所、芸能プロダクション、レコード会社等に所属している新人のアーティスト又はその新曲を投資の対象とする実施例について説明する。この投資システムは、図1に示す投資システムにおいてアーティストクライアント装置32がないだけで、サーバ装置10、投資クライアント装置20、音楽事務所クライアント装置31から構成されるので、これらの装置の詳細な説明は省略し、その動作について図4のフローチャートを参照しながら説明する。

## 【 0 0 3 8 】

音楽事務所、芸能プロダクション、レコード会社等に設置された音楽事務所クライアント装置 3 1 は、例えばレコード会社の担当者がアップロードの操作を行うと、ステップ S 3 1 において、例えば新人アーティストの楽曲データ、プロフィール、後述するチケットの価格等のアーティストに関するデータをインターネット 1 を介してサーバ装置 1 0 にアップロードする。

## 【 0 0 3 9 】

ステップ S 3 2 において、サーバ装置 1 0 は、アップロードされてきた楽曲データ等を受信し、ステップ S 3 3 において、サーバ装置 1 0 は、受信したデータを、例えばジャンル別等で分類し、投資対象データとして登録し、ステップ S 3 4 において、サーバ装置 1 0 は、新人アーティストの楽曲データ等をレコード会社のホームページに公表する。

## 【 0 0 4 0 】

ステップ S 3 5 において、利用者がレコード会社のホームページにアクセスする操作を行うと、投資クライアント装置 2 0 は、サーバ装置 1 0 の近日デビューするアーティストのホームページにアクセスして、表示部 2 7 に表示する。

## 【 0 0 4 1 】

利用者は、表示されたホームページを用いて、将来性があると思うアーティストや、自分の好みのアーティストを見つけ、ダウンロード操作を行う。すなわち、ステップ S 3 6 において、投資クライアント装置 2 0 は、利用者がダウンロード操作を行ったかを判定し、該当するときはステップ S 3 8 に進み、該当しないときは、例えばインターネット 1 から接続を解除するログアウト処理等の利用者の操作に応じた他の処理を行う。

## 【 0 0 4 2 】

ステップ S 3 7 において、投資クライアント装置 2 0 からの要求に応じ、サーバ装置 1 0 は、投資クライアント装置 2 0 の利用者が所望するアーティストの楽曲データ、プロフィールデータ等と、チケットの価格を投資クライアント装置 2 0 に送信し、投資クライアント装置 2 0 は、ステップ S 3 8 において、それらのデータを受信し、その HDD 2 2 に一旦記録するとともに、画面に表示する。ま

た、投資クライアント装置20は、利用者が楽曲を聴くために楽曲データを再生する操作を行うと、上述の実施例と同様に、楽曲データに基づいた音楽を出力する。かくして、利用者が選択した新人アーティストの楽曲が再生される。

#### 【0043】

そして、利用者は、再生された楽曲を試聴して、そのアーティストに将来性があるかを判断して、そのアーティストのチケットを購入するかを決断する。すなわち、ステップS39において、投資クライアント装置20は、利用者が購入操作を行ったかを判定し、該当するときはステップS40に進み、該当しないときは、例えばログアウト処理等の利用者の操作に応じた他の処理を行う。

#### 【0044】

ステップS40において、投資クライアント装置20は、利用者が操作した購入に関するデータ、利用者の識別子(ID)等のデータをサーバ装置10に送信し、サーバ装置10は、ステップS41において、それらのデータを受信する。

#### 【0045】

そして、新人アーティストがデビューした後、ステップS42において、サーバ装置10は、その新人アーティストの発表楽曲毎の売上データを集計し、ステップS42において、サーバ装置10は、楽曲毎の売上データに基づいて、アーティストのチケット価格を計算する。具体的には、下記表1に示すように、新人アーティストの1枚目の発売シングルアルバムの売上枚数を $m$ 枚とし、2枚目以降シングルアルバムの増加又は減少枚数を $x$ 枚とし、1枚目のシングルアルバムの楽曲価値を $n$ 円とすると、2枚目、3枚目、・・・のシングルアルバムの各楽曲価格は、 $n \times (m \pm x) / m$ 、 $n \times ((m \pm x) \pm x) / (m \pm x)$ 、・・・となる。また、1枚目のシングルアルバムに対する、例えばカレンダー、コマーシャル出演料等の関連商品の売り上げを $Y$ 円とし、2枚目以降シングルアルバムに対する関連商品の売上増加量又は減少量を $X$ 円とすると、2枚目、3枚目、・・・のシングルアルバムに対する関連商品の各売上動向は、 $(Y \pm X) / Y \times 100\%$ 、 $((Y \pm X) \pm X) / (Y \pm X) \times 100\%$ 、・・・となる。そして、楽曲毎のアーティストのチケット価格は、(楽曲毎の楽曲価格(円))  $\times$  (関連商品売上動向(%))となる。

【0046】

【表1】

発売楽曲(シングル/アルバム)	1枚め	2枚め	3枚め...
売上動向(枚)	m	m±x	(m±x)±x
発売楽曲ごとの楽曲価値(円)	n(初期投資額)	n×(m±x)/m	n×[(m±x)±x]/(m±x)
関連商品売上	y	y±x	(y±x)±x
売上動向率(%)	--	(y±x)×100/y	[(y±x)±x]×100/(y±x)
チケット価格(円)	各発売楽曲ごとの楽曲価値(円)×関連商品売上動向率(%)		

\* 関連商品には、カレンダーやCM出演料なども含まれる。

【0047】

ステップS44において、サーバ装置10は、発売楽曲毎の売上データ、新楽曲と前楽曲の売上枚数の割合、チケット価格をホームページに公表する。

## 【0048】

その後、機会がある毎に、投資クライアント装置20の利用者は、そのホームページにアクセスし、公表されているチケット価格を参考に、チケットを売却又は新たに購入するかを決断する。すなわち、ステップS45において、投資クライアント装置20は、レコード会社のホームページにアクセスし、ステップS46において、投資クライアント装置20は、利用者がチケットを売却又は購入する操作を行ったかを判定し、該当するときはステップS47に進み、該当しないとき、例えばインターネット1から接続を解除するログアウト処理等の利用者の操作に応じた他の処理を行う。

## 【0049】

ステップS47において、投資クライアント装置20は、チケット売却又は購入のデータをサーバ装置10に送信し、ステップS48において、それらのデータを受信する。そして、投資クライアント装置20は、その利用者がレコード会社の新人アーティストのホームページにアクセスする毎に、ステップ45以降の処理を繰り返し、サーバ装置10は、定期的にステップS42以降の処理を繰り返す。

## 【0050】

次に、投資対象を、アーティストではなく、例えばレコード会社から発売される新曲としたときの実施例について、図5に示すフローチャートを参照しながら説明する。この投資システムも、図1に示す投資システムにおいてアーティストクライアント装置32がないだけで、サーバ装置10、投資クライアント装置20、音楽事務所クライアント装置31から構成されるので、これらの装置の詳細な説明は省略する。

## 【0051】

レコード会社に設置された音楽事務所クライアント装置31は、例えばレコード会社の担当者がアップロードの操作を行うと、ステップS51において、例えば新曲の楽曲データ、そのアーティストのプロフィール、チケットの価格等の新曲に関するデータをインターネット1を介してサーバ装置10にアップロードする。

【 0 0 5 2 】

ステップ S 5 2 において、サーバ装置 1 0 は、アップロードされてきた楽曲データ等を受信し、ステップ S 5 3 において、サーバ装置 1 0 は、受信したデータを、例えばジャンル別等で分類し、投資対象データとして登録し、ステップ S 5 4 において、サーバ装置 1 0 は、新曲の楽曲データ等をレコード会社のホームページに公表する。

【 0 0 5 3 】

ステップ S 5 5 において、利用者がレコード会社のホームページにアクセスする操作を行うと、投資クライアント装置 2 0 は、サーバ装置 1 0 の新曲のホームページにアクセスして、表示部 2 7 に表示する。

【 0 0 5 4 】

利用者は、表示されたホームページを用いて、将来性があると思う新曲や、自分の好みの新曲を見つけ、ダウンロード操作を行う。すなわち、ステップ S 5 6 において、投資クライアント装置 2 0 は、利用者がダウンロード操作を行ったかを判定し、該当するときはステップ S 5 8 に進み、該当しないときは、例えばインターネット 1 から接続を解除するログアウト処理等の利用者の操作に応じた他の処理を行う。

【 0 0 5 5 】

ステップ S 5 7 において、投資クライアント装置 2 0 からの要求に応じ、サーバ装置 1 0 は、投資クライアント装置 2 0 の利用者が所望する新曲の楽曲データ、プロフィールデータ、チケットの価格等を投資クライアント装置 2 0 に送信し、投資クライアント装置 2 0 は、ステップ S 5 8 において、それらのデータを受信し、その HDD 2 2 に一旦記録するとともに、画面に表示する。また、投資クライアント装置 2 0 は、利用者が新曲を聴くために楽曲データを再生する操作を行うと、楽曲データに基づいた音楽を出力する。かくして、利用者が選択した新曲が再生される。

【 0 0 5 6 】

そして、利用者は、再生された新曲を試聴して、その新曲がヒットするかを判断し、その新曲のチケットを購入するかを決断する。すなわち、ステップ S 5 9

において、投資クライアント装置 2 0 は、利用者が購入操作を行ったかを判定し、該当するときはステップ S 6 0 に進み、該当しないときは、例えばログアウト処理等の利用者の操作に応じた他の処理を行う。

## 【 0 0 5 7 】

ステップ S 6 0 において、投資クライアント装置 2 0 は、利用者が操作した購入に関するデータ、利用者の識別子 ( I D ) 等のデータをサーバ装置 1 0 に送信し、サーバ装置 1 0 は、ステップ S 6 1 において、それらのデータを受信する。

## 【 0 0 5 8 】

そして、所定期間経過後、ステップ S 6 2 において、サーバ装置 1 0 は、その新曲の売上データを集計し、ステップ S 6 3 において、サーバ装置 1 0 は、新曲の売上データに基づいて、最初のチケット価格を  $n$  円とし、新曲のチケット価格を計算する。具体的には、例えば下記表 2 に示すように、新曲のコンパクトディスクの売上枚数 1 0 0 0 枚、2 5 0 0 枚、5 0 0 0 枚、7 5 0 0 枚、・・・都度に、新曲のチケット価格を  $n \times 1.03$  円、 $n \times 1.05$  円、 $n \times 1.1$  円、 $n \times 1.5$  円、・・・となるように、売上枚数の増加に従って、増加させる。

## 【 0 0 5 9 】

【表 2】

楽曲売り上げ枚数(CD等)	1000枚	2500枚	5000枚	7500枚	...
元値 $n$ (円)	$n \times 1.03$	$n \times 1.05$	$n \times 1.1$	$n \times 1.5$	...

## 【 0 0 6 0 】

ステップ S 6 4 において、サーバ装置 1 0 は、新曲の売上枚数データ、そのチケット価格をホームページに公表する。

## 【 0 0 6 1 】

その後、機会がある毎に、投資クライアント装置 2 0 の利用者は、そのホームページにアクセスし、公表されているチケット価格を参考に、チケットを売却又は新たに購入するかを決断する。すなわち、ステップ S 6 5 において、投資クライアント装置 2 0 は、レコード会社のホームページにアクセスし、ステップ S 6 6 において、投資クライアント装置 2 0 は、利用者がチケットを売却又は購入す

る操作を行ったかを判定し、該当するときはステップ S 6 7 に進み、該当しないとき、例えばインターネット 1 から接続を解除するログアウト処理等の利用者の操作に応じた他の処理を行う。

#### 【 0 0 6 2 】

ステップ S 6 7 において、投資クライアント装置 2 0 は、チケット売却又は購入のデータをサーバ装置 1 0 に送信し、ステップ S 6 8 において、それらのデータを受信する。そして、投資クライアント装置 2 0 は、その利用者がレコード会社の新曲のホームページにアクセスする毎に、ステップ 6 5 以降の処理を繰り返す、サーバ装置 1 0 は、定期的にステップ S 6 2 以降の処理を繰り返す。

#### 【 0 0 6 3 】

以上の説明でも明らかなように、本発明を適用した投資システムでは、無名のアーティストが、その才能（タレント性）及び楽曲を一度に大勢の人や、音楽事務所及びレコード会社にアピールする場を提供することができる。また、音楽事務所やレコード会社は、新人アーティスト及び新曲を、大勢の人に宣伝することができる。また、投資クライアント装置 2 0 の利用者、すなわち投資家は、先見の明があれば、利益を上げることができる。

#### 【 0 0 6 4 】

なお、例えば、上述の実施例では、新曲が発売された後に、その新曲を投資対象としているが、発売前の新曲を投資対象としてもよい。すなわち、図 5 に示すステップ S 5 1 及び S ステップ S 5 2 における音楽事務所クライアント装置 3 1 から投資クライアント装置 2 0 にアップロードする投資対象データを、近日発売予定の楽曲データの一部、例えばイントロ部分やさびの部分とし、ステップ S 5 8 における投資クライアント装置 2 0 がサーバ装置 1 0 からダウンロードする投資対象データを、イントロ部分又はさびの部分の楽曲データとする。したがって、投資クライアント装置 2 0 の利用者は、イントロ部分又はさびの部分聞いて、チケットを購入するか否かを判断する。その後、その楽曲が発売され、上述の実施例と同様に、新曲売上の発表、新たなチケット価格の決定、チケットの売買が行われる。



【0065】

また、例えば、上述したアーティストを投資対象とした実施例、及び楽曲を対象とした実施例において、チケットが売買される毎に、例えば下記表3に示するような投資家の名前、売買した日付、購入した投資家の生年月日、住所、電話番号、電子メールアドレス、職業等の投資家に関する情報を入れるようにしてもよい。また、サーバ装置10において、投資家情報を管理するようにしてもよい。

【0066】

【表3】

<チケット②売買の履歴>

○月△日 投資家bさん購入

bさん：生年月日 19〇〇年〇月×日

住所：

電話：

Email：

職業：

○月×日 投資家bさん売却

○月◎日 投資家cさん購入

cさん：生年月日 19〇〇年〇月××日

住所：

電話：

Email：

職業：

【0067】

さらに、上述の実施例では、投資対象をアーティスト、すなわちその才能（才能）や楽曲としたが、投資対象を漫画、絵画、小説等のコンテンツとしてもよい。

## 【0068】

次に、例えば音楽、漫画、絵画、小説、映画等のコンテンツを制作するアーティストに対してコンテンツ（作品）を公表できる場を提供するのみならず、コンテンツを販売する際に、通常の課金処理と、個人投資を可能とした投資目的の課金処理を、コンテンツの購買者に選択させる投資システムについて説明する。

## 【0069】

この投資システムは、例えば図6に示すように、コンテンツ制作者が制作したコンテンツを蓄積するサーバ装置10と、コンテンツ製作者が自主製作したコンテンツをサーバ装置10にアップロードするアーティストクライアント装置32と、著作権を管理するホストコンピュータ33と、投資資金を管理するホストコンピュータ34と、コンテンツを販売するとともに、その支払いと投資に対する支払いを選択的に行うことができるキオスク端末装置40とを備える。なお、サーバ装置10、アーティストクライアント装置32は、図1に示すサーバ装置10、アーティストクライアント装置32と同じ構成を有するので、同じ番号を付して、それらの詳細については説明を省略する。

## 【0070】

コンテンツ製作者が自主製作した音楽、漫画、絵画、小説、映画写真等のコンテンツを光ディスク、光磁気ディスク、不揮発性メモリ等の記録媒体に記録して、例えば自宅のパーソナルコンピュータ等からなるアーティストクライアント装置32でアップロードする操作を行うと、アーティストクライアント装置32は、それらのコンテンツをサーバ装置10にアップロードする。その際、アーティストクライアント装置32は、コンテンツのみならず、コンテンツ製作者の身長、体重、写真、過去の経歴等の情報もアップロードする。これらの情報は、プロダクションでの審査の参考とされる。なお、アップロードは、例えば、家庭内のセットトップボックスを用いるようにしてもよい。

## 【0071】

また、別な実施例としては、例えば、コンテンツ製作者が自主製作したコンテンツを光ディスク、光磁気ディスク、不揮発性メモリ等の記録媒体に記録して、全国にチェーン展開されネットワークで接続された店又は駅等の公共の場に設置

されているキオスク端末装置 4 0 内の大容量メモリにアップロードするようにしてもよい。これらキオスク端末装置 4 0 にアップロードされたコンテンツは、例えば I S D N、電話回線、衛星回線、電波等の公衆回線を介してサーバ装置 1 0 に更にアップロードされる。

#### 【 0 0 7 2 】

すなわち、キオスク端末装置 4 0 は、図 6 に示すように、公衆回線に接続されたインターフェース回路（以下、I / F 回路という。）4 1 と、大容量メモリであるハードディスク装置 4 2 と、画像を表示する表示部 4 3 と、利用者がコンテンツを購入するために操作する操作部 4 4 と、キオスク端末装置の各回路を制御する制御部 4 5 とを備える。コンテンツ製作者が、自主製作したコンテンツを記録した、例えば光磁気ディスクを記録媒体レコーダ 4 7 に装填して、そのコンテンツを、操作部 4 4 を用い、キオスク端末装置 4 0 にアップロードする操作を行うと、制御部 4 5 は、記録媒体レコーダ 4 7 から読み出されるコンテンツを、ハードディスク装置 4 2 に格納する制御を行う。さらに、制御部 4 5 は、ハードディスク装置 4 2 に格納されたコンテンツを、I F 回路 4 1 及び公衆回線を介して、サーバ装置 1 0 内の記憶部 1 1 に更にアップロードする制御を行う。

#### 【 0 0 7 3 】

そして、キオスク端末装置 4 0 にアップロードされたコンテンツは、キオスク端末装置 4 0 の利用者が、自由に全部又はその一部を試すことができる。すなわち、制御部 4 5 は、利用者が音楽、映像、文書を再生する操作を行うと、制御部 4 5 は、その操作に応じて、ハードディスク装置 4 2 に蓄積されているコンテンツを読み出して、例えば表示部 4 3 に表示させたり、音楽を再生する制御を行う。また、このとき、制御部 4 5 は、音楽、映像、文章を視聴させるとともに、コンテンツ製作者の簡単な経歴等も表示部 4 3 に表示して、利用者に紹介する。すなわち、才能のみならず容姿等も投資判断の対象となるので、上述したコンテンツ製作者が入力した経歴が参照される。

#### 【 0 0 7 4 】

ここで、利用者がコンテンツを購入するときの動作について説明する。利用者は、視聴したコンテンツが気に入ったら、コイン／カード装置 4 6 によって所定

の金額を貨幣又はクレジットカード等で支払い、制御部45は、記録媒体レコーダ47に利用者が装填した例えばCD-R、MD、不揮発性メモリ等の記録媒体にコンテンツを記録するように制御する。そして、制御部45は、これらコンテンツの売上情報を、I/F回路41から公衆回線を介してサーバ装置10に送信し、サーバ装置10は、それらを記憶部11に蓄積する。なお、ダウンロードされる頻度の高いコンテンツはキオスク端末装置40内のハードディスク装置42に蓄積し、頻度の低いコンテンツはサーバ装置内の記憶部11からコンテンツのダウンロードの要求があるたびにキオスク端末装置40にダウンロードするようにしてもよい。

#### 【0075】

次に、利用者が投資目的でキオスク端末装置40を用いるときの動作について説明する。投資目的の利用者は、キオスク端末装置40でコンテンツやコンテンツ製作者の簡単な経歴を参照して、その才能に対して投資を行うと決定したら、コイン/カード装置46を介して貨幣又はクレジットカードで所定の金額を納金する。また、納金の際に、利用者は、後にそのアーティストが爆発的なヒットをした場合に対価を受け取れるように、氏名、住所、銀行振込番号等の投資家識別データを操作部44を介して入力する。そして、制御部45は、これら投資家識別データ、コンテンツ識別子、投資額を公衆回線を介してサーバ装置10に転送する。また、これらの情報は、投資資金管理会社に設置されたホストコンピュータ装置34にも転送される。投資資金管理会社は、例えば、投資された資金を管理及び運用する製作会社や、管理のみを行うクレジット会社である。コンテンツ製作者によって製作されたコンテンツは、サーバ装置10を介して著作権管理会社に設置されたホストコンピュータ装置33にも転送され、ホストコンピュータ装置33は、その著作権を管理する。著作権管理会社は、例えばレコード会社、出版社、映画会社等である。著作権管理会社は、投資資金管理会社のホストコンピュータ装置34からの投資された資金を、例えば一定の売上をキオスク端末装置40で上げているコンテンツ製作者のコンテンツの頒布を目的とした記録媒体（本、CD、DVD、VTR等）の制作費に使用したり、コンテンツ製作者、コンテンツの広告宣伝費用と使用する。なお、この実施例では一定の売上をキオス

ク端末装置40で上げているコンテンツに対して投資が行われるが、売上は少ないが投資対象での応募が多いコンテンツに対して投資を行ってもよい。これら記録媒体による頒布による売上が一定金額以上になったら、著作権管理会社は、投資家に対価を納入する。対価は、例えば、売上対投資金額に応じた金額をリターンしてもよいし、コンサート、絵画展、映画上映等のチケットや、希少価値（プレミア）が後々つくことを考えて、コンテンツ製作者が投資家だけに製作したコンテンツを配布してもよい。更に、コンテンツ製作者に関する商品を配布してもよい。

## 【0076】

ここで、キオスク端末装置40における操作手順及びその時の動作について、図7～図9を参照しながら説明する。例えば図9Aに示すように、キオスク端末装置40の表示部43には、複数のアーティストの楽曲のタイトルが表示されており、ステップS71において、利用者が操作部44でコンテンツを選択すると、ステップS72において、例えば図9Bに示すように、表示部43に視聴モード、購入モード、投資モードの3つのモードを選択する選択画面が表示される。そして、制御部45は、利用者が視聴モードを選択したかを判定し、該当するときはステップS73に進み、視聴モードを選択しなかったときはステップS74に進む。

## 【0077】

ステップS73において、制御部45は、例えば音楽の一部を再生し、ステップS74に進む。ステップS74において、制御部45は、購入モードが選択されたかを判定し、該当するときはステップS75に進み、該当しないときはステップS78に進む。

## 【0078】

ステップS75において、例えば図8Aに示す表示に従って、利用者がクレジットカード又は現金での支払いを選択すると、制御部45は、利用者IDとして取り込み、ステップS76に進む。ステップS76において、利用者が所定の購入金額を入力すると、制御部45は、それを取り込み、ステップS77に進む。ステップS77において、制御部45は、例えば図8Bに示すように、記録媒体

レコーダ 47 に記録媒体の挿入を促す表示を表示部 43 に表示するとともに、記録媒体が記録媒体レコーダ 47 に挿入されたときには、この利用者所有の記録媒体に、利用者が選択したコンテンツをダウンロードする。

【0079】

また、上述したステップ S74 において、利用者が購入モードを選択しなかったときは、制御部 45 は、ステップ S78 に進み、このステップ S78 において、利用者が投資モードを選択したかを判定し、該当するときはステップ S49 に進み、該当しないときはステップ S71 に戻る。ステップ S79 において、制御部 45 は、例えば図 9C に示すように、クレジット番号 (ID) 等の入力を促す表示を表示部 43 に表示するとともに、クレジット ID、暗証番号が入力されると、それらを投資家 ID として取り込み、ステップ S80 に進む。ステップ S80 において、制御部 45 は、例えば図 9C に示すように、投資金額の入力を促す表示を表示部 43 に表示するとともに、投資金額が入力されると、投資金額を取り込む。

【0080】

次に、投資資金管理会社のホストコンピュータ装置 34 における処理動作について、図 10 を参照しながら説明する。ステップ S81 において、ホストコンピュータ装置 34 は、コンテンツの売上高を集計する。ステップ S82 において、ホストコンピュータ装置 34 は、投資金額の合計を算出する。ステップ S83 において、ホストコンピュータ装置 34 は、投資家の投資金額に応じた対価の分配を算出する。ステップ S84 において、ホストコンピュータ装置 34 は、投資家 ID に基づいて、対価を分配する。

【0081】

なお、投資資金管理会社のホストコンピュータ装置 34 は、図 11 に示すように処理動作を行うようにしてもよい。ステップ S91 において、ホストコンピュータ装置 34 は、投資金額を集計する。ステップ S92 において、ホストコンピュータ装置 34 は、投資金額が一定以上になったかを判定し、該当するときはステップ S93 に進み、該当しないときはステップ S91 に戻る。すなわち、ホストコンピュータ装置 34 は、投資金額が一定以上となるまで待機する。

## 【0082】

投資金額が一定以上となったとき、ステップS93において、ホストコンピュータ装置34は、投資金額に応じた対価の分配を決定する。ステップS94において、ホストコンピュータ装置34は、投資家IDに基づいて、対価を分配する。

## 【0083】

このように、この実施例の投資システムでは、コンテンツの売上と投資金額に応じて固定の対価の支払いをすることによって、所謂株価指数に基づく変動の対価の演算を行う必要がなく、投資システムの負荷を軽くすることができる。

## 【0084】

次に、移動体通信システムを利用し、本発明を適用した投資システムについて図面を参照しながら説明する。

## 【0085】

図12において、システムの全体構成を示し、図13に移動体通信投資システムを示す。サーバ装置10は、複数のコンテンツが記憶されるとともに、各コンテンツの製作者（アーティスト）、コンテンツの値段、本サービスに参加する利用者ID等が記録される記憶部11が設けられている。この記憶部11に記憶されるデータは、コーデック12よりエンコード、デコードされ、インタフェース13を介して外部と通信される。更に、サーバ装置10は、通常のコンピュータの構成と同じく、ROM14、RAM15を備え、制御部16により、ROM14に記憶されるサーバ装置10の動作を制御するプログラムがRAM15に一旦ロードされ、制御部16で実行されることにより、全体の動作が制御される。

## 【0086】

ここで、コンテンツがオーディオ信号の場合は、コーデック12によりATRAC3や、MPEG Audio layer 3等の方式でエンコード、デコードされる。また、コンテンツがビデオ信号の場合はMPEG4、MPEG7等の方式でエンコード、デコードされる。

## 【0087】

中央管理センタ50は、無線通信ネットワーク全体を管理する。中央管理セン

タ 5 0 は、移動体端末装置の利用者毎の通話時間より演算される通話料金データを記憶するとともに利用者毎の口座へアクセスするための口座アクセス鍵データを記憶する記憶部 5 1 を有する。また、記憶部 5 1 に記憶されるデータは、コーデック 5 2 によりエンコード、デコードされ、インタフェース 5 3 を介して外部と通信される。更に、上述のサーバ装置 1 0 と同様に、ROM 5 4、RAM 5 5 を備え、制御部 5 6 により、ROM 5 4 に記憶される全体の動作を制御するプログラムが RAM 5 5 に一旦ロードされ、RAM 5 5 で実行されることにより、全体の動作制御される。また、インタフェース 5 3 は、インタフェース 1 3 と専用線 6 0 により接続され、デジタルデータの双方向通信を行う。ここで、デジタルデータは、暗号化されていてもよく、アナログデータが双方向通信されてもよい。また、詳述はしないが、本中央管理センタ 5 0 は、移動体端末装置、特に携帯型電話等の無線通信ネットワーク全体を管理する制御機能を備える。すなわち、中央管理センタ 5 0 は、複数の基地局 7 0 を制御し、移動体端末装置 8 0 間等の通話を可能とする交換局としての機能を有する。ここでは、移動体端末装置 8 0 の利用者の通話料金データを管理するデータのみが関連するため通話時の動作の説明は省略する。

## 【 0 0 8 8 】

移動体端末装置 8 0 は、基地局 7 0 より RF 信号として伝送されてくるデータを受信する RF 部 8 1 を有する。RF 部 8 1 より受信されるデータは、復調部 8 2 で 4 相位相偏移変調 (QPSK) 方式等により復調され、チャネルコーデック部 8 3 により時分割多元接続 (TDMA) 方式によりチャネルコーディングされたデータの抽出を行う。以下、移動体端末装置 8 0 のデータ送受信時のデータの流れとともに各構成の説明を行う。

## 【 0 0 8 9 】

例えば、携帯型電話として利用者が使用しているとき、チャネルコーディングされたデータより音声データが抽出され、復号部 8 4 により ADPCM 方式等により復号される。次に、D/A 変換部 8 5 が復号された音声データをアナログ信号に変換し、スピーカ 8 6 より出力する。



## 【0090】

また、サーバ装置10に記憶されるコンテンツがダウンロードされるとき、チャンネルコーディングされたデータよりコンテンツデータが抽出され、復号部84は、ATRAC3、MP3方式等により復号する。このとき、制御部87は、チャンネルコーディングされたデータより抽出されるデータの種別に応じて復号部84の機能を切り換えるように動作制御する。次に、D/A変換部85が復号されたコンテンツデータをアナログデータに変換し、スピーカ86より出力する。このとき、ヘッドホン端子等より出力するようにしてもよい。

## 【0091】

次に、携帯型電話として利用者が移動体端末装置80を使用するとき、マイク88からはアナログ音声信号が入力される。入力されるアナログ音声信号は、A/D変換器89によりデジタル信号に変換され符号化部90によりADPCM方式等により符号化される。符号化されたデータは、チャンネルコーデック部83でチャンネルコーディングされ更に、変調部91によりQPSK方式等により変調され、RF部81より変調されたデータがアンテナ96を介して基地局70に送信される。

## 【0092】

ここで、上述のサーバ装置10、中央管理センタ50と同様、制御部87が全体の動作制御を行う。ROM92には、移動体端末装置80の動作制御用の制御プログラムが記憶され、制御プログラムは、一旦RAM93にロードされた後、RAM93上で実行される。更に、指示部94は、通常の携帯型電話に設けられるテンキー等であり、ここでは、サーバ装置10に記憶されるコンテンツデータのダウンロード指示、ダウンロードされ一旦RAM93に記憶されたコンテンツデータのアップロード指示等も指示部94により行う。また、表示部95は、通常の携帯型電話に設けられる電話番号表示等に加えて、サーバ装置10に記憶されるコンテンツデータのリスト表示及び利用者がダウンロードしたコンテンツデータの現在のコンテンツ値等の表示を行う。

## 【0093】

課金センタ100は、コンテンツデータを登録するアーティストやアーティスト

トが所属する事務所の口座、コンテンツをCDとして販売する小売店の口座及び本無線通信ネットワークを利用して電話を利用する利用者の口座を管理するとともに、各口座に対して課金処理を行う。課金センタ100は、専用線110によりサーバ装置10に接続されているとともに、専用線120により中央管理センタ50に接続されている。課金センタ100は、サーバ装置10或いは中央管理センタ50より符号化されたアクセス要求或いは口座アクセス用鍵が送信され、これらをインタフェース101により受信する。この受信されるデータは暗号化されていてもよい。次に、コーデック102によりデータが復号され、アクセス要求データのときは、制御部103が認証処理を行い、口座アクセス用鍵データのときは、記憶部104に記憶される口座管理データにアクセスし、口座管理データを更新する。制御部103は、更新された口座管理データを元に、銀行センタ160とインタフェース101を介して送受信することにより所定の銀行口座に対する決済処理がされるように制御する。制御部103による認証処理の結果は、コーデック102により符号化されインタフェース101を介してサーバ装置10或いは中央管理センタ50に送信される。また、サーバ装置10と同様に、ROM105には、課金センタ100の全体の動作制御用の制御プログラムが記憶されており、この制御プログラムは一旦RAM106にロードされ、RAM106上で実行される。

## 【0094】

課金センタ100の記憶部104の口座管理データのうち、アーティストの口座が更新されることにより、130に示す配当や自身のコンテンツデータのエン트리費用の決済処理が行われる。また、事務所の口座が更新されることにより、140に示す配当や事務所のコンテンツデータのエン트리費用の決済処理が行われる。更に、小売店の口座が更新されることにより、150に示す小売店への配当という決済処理が行われる。その他、事務所から小売店へのCDの販売、事務所からアーティストへの給与の支給、配当は本システムと直接関わるものではない。また、小売店或いは事務所からのCDの売り上げデータは、後述するコンテンツをダウンロードした者への配当処理に利用される。

## 【 0 0 9 5 】

次に、図 1 3 を用いて移動体通信投資システムの個人アーティストによりサーバ装置 1 0 に登録されたコンテンツを移動体端末装置 8 0 の利用者がダウンロード及びアップロードする際の動作を図 1 4 を用いて説明する。

## 【 0 0 9 6 】

サーバ装置 1 0 の制御部 1 6 は、ステップ S 1 0 1 において、アーティストデータの登録処理を行う。具体的には、個人アーティストが自身の P C 等によりサーバ装置 1 0 に直接アクセスし、アーティスト I D、コンテンツをサーバ装置 1 0 に送信する。サーバ装置 1 0 は、表 4 ( A ) に示す記憶部 1 1 に記憶されるデータベースにアーティスト I D、コンテンツ I D、コンテンツ I D がポインタとなり指し示すコンテンツデータ、コンテンツの初期の値段、すなわち、コンテンツの始値 ( コンテンツ値 ) を記憶する。

【0097】

【表4】

サーバID	コンテンツID	コンテンツ値	ユーザID	ダウンロード数	アップロード数	売買合計	サーバ利益
アーティストID MIKE	AAA	100	A123B	1	0	100	260000
			A325B	2	1	100	
			A457C	5	1	400	
	AAA2	120	B875D	2	2	0	
CAR	BBB	200	D451A	2	1	200	
CAT	CCC	1000	F719B	2	0	2000	

(A)

ユーザ配当	アーティスト配当	ユーザ口座用鍵	アーティスト口座用鍵	サーバ口座用鍵
1	100000	k1	k1	Se
1		k2		
4		k3		
0		k4		
10		k5	k2	
100		k6	k3	

ID	銀行ID	口座番号	日付	出入履歴	残金	口座用鍵
A123B	○△銀行	123456789	2000.02.10	10000	110000	k1
			2000.02.13	10000	120000	
			2000.02.15	-20000	100000	
			2000.02.15	-20000	80000	
			2000.02.18	-30000	50000	
			2000.02.20	-10000	40000	
CAR	x■銀行	321456785	2000.02.05	-20000	100000	k2
			2000.02.13	-10000	90000	
SERVER1	△△銀行	548795431	2000.02.13	260000	260000	Se

(B)

【0098】

サーバ装置10の制御部16は、ステップS102において、アーティストデ

ータを移動体端末装置 8 0 に送信する。アーティストデータは、アーティスト I D、コンテンツ I D、コンテンツ値である。

## 【 0 0 9 9 】

移動体端末装置 8 0 の制御部 8 7 は、ステップ S 1 0 3 において、アーティストデータの受信待機状態である。制御部 8 7 は、アーティストデータを受信完了すると、ステップ S 1 0 4 に進み、表示部 9 5 にアーティストデータを表示する。

## 【 0 1 0 0 】

制御部 8 7 は、ステップ S 1 0 5 において、利用者によるコンテンツデータの指示部 9 4 によるダウンロード指示を受け付けると、ステップ S 1 0 6 に進み、利用者 I D とコンテンツ I D をサーバ装置 1 0 に送信する。制御部 8 7 は、ステップ S 1 0 7 において、サーバ装置 1 0 から送信される利用者 I D、コンテンツ I D、コンテンツデータの受信待機状態となる。受信が完了すると、制御部 8 7 は、ステップ S 1 0 8 に進む。また、制御部 8 7 は、ステップ S 1 0 5 において、利用者によるコンテンツデータのダウンロード指示がないと、ステップ S 1 0 8 に進む。

## 【 0 1 0 1 】

制御部 8 7 は、ステップ S 1 0 8 において、利用者により以前ダウンロードされ R A M 9 3 に記憶されるコンテンツをアップロードする指示が指示部 9 4 より与えられると、ステップ S 1 0 9 に進み、利用者 I D とコンテンツをサーバ装置 1 0 に送信する。制御部 8 7 は、ステップ S 1 0 8 において、利用者によるコンテンツのアップロード指示がないと、ステップ S 1 1 0 に進む。

## 【 0 1 0 2 】

制御部 8 7 は、利用者による終了指示があるか否かを判定し、ないときにはステップ S 1 0 4 に戻り、再び同じアーティストデータを表示するか、既に記憶部 1 1 に記憶されているアーティストデータを表示する。一方、制御部 8 7 が利用者による終了指示があると判定するときには、移動体端末装置 8 0 での処理を終了する。

## 【0103】

サーバ装置10の制御部16は、ステップS111において、利用者ID、コンテンツID、すなわち、ダウンロードリクエストの受信待機状態である。利用者IDとコンテンツIDが受信されないとき、ステップS112に進み、利用者ID、コンテンツの受信待機状態となる。利用者ID、コンテンツも受信されないとき、すなわち、アップロードされないとき、ステップS111に戻り、利用者ID、コンテンツID、コンテンツの受信待機状態を続ける。

## 【0104】

ステップS111において、利用者IDとコンテンツIDが受信されると、制御部16は、ステップS113に進む。ステップS113において、制御部16は、ステップS111により受信された利用者のダウンロードリクエストに応じて利用者ID、コンテンツID、コンテンツデータを移動体端末装置80に送信する。送信が完了すると、制御部16は、ステップS114に進む。

## 【0105】

制御部16は、ステップS114において、表4(A)に示すデータベースを更新する。例えば、制御部16は、利用者IDとコンテンツIDが受信されるとき(ダウンロード)、コンテンツIDに対応して利用者IDを記憶する。また、制御部16は、ダウンロード数を1つインクリメントする。ここでは利用者の一回のダウンロード指示では、コンテンツ1つに対して1回のダウンロードを許可するように構成しているが、一回のダウンロードで同じコンテンツを、或いは異なるコンテンツを複数ダウンロードできるようにしてもよい。

## 【0106】

次に、利用者IDとコンテンツが受信されるとき(アップロード)、利用者ID、コンテンツに対応するアップロード数を一つインクリメントする。利用者の一回のアップロード指示では、コンテンツ1つに対して1回のアップロードを許可するように構成しているが、一回のアップロードで同じコンテンツを複数アップロード、或いは異なるコンテンツを複数アップロードできるようにしてもよい。

## 【0107】

制御部16は、ステップS114における投資金額データベースの更新を完了すると、ステップ115に進む。制御部16は、ステップS115において、所定時間が計数されたか否かを判定する。ここでは、所定時間を10分とする。すなわち、ステップS115において、制御部16は、10分おきにステップS116の処理に進むように動作制御する。

## 【0108】

制御部16は、ステップS116において、表4(A)に示すの投資金額データベースに応じてコンテンツ値を演算するとともに、データベースのコンテンツ値及び売買合計金額を更新する。

## 【0109】

ここで、コンテンツ値計算方法について図15～図18に4つの例を示す。先ず、図15に沿ってコンテンツ計算方法を説明する。コンテンツ値計算は、サーバ装置10の制御部16が行う。コンテンツ値の始値が300円とする。制御部16は、上述したステップS113において計数される10分間におけるダウンロード数とアップロード数の数をステップS131で計数する。ダウンロード数とアップロード数が1000と800であるとき、ステップS132において、価格変動値を(ダウンロード数-アップロード数)×定数として演算する。ここでは定数を0.5とすると、価格変動値は+100円となる。

## 【0110】

次に、制御部16は、ステップS133において、価格変動値が200円より大きいかな否かを判定する。これは、急激な価格変動を防止するためのリミッタである。よって、200円に限定されるものではない。価格変動値は+100円であるので、制御部16は、ステップS134の処理を進め、価格変動値を+100円と設定する。更に、制御部16は、ステップS135に進み、コンテンツ値が $300 + 100 = 400$ 円と演算される。

## 【0111】

次に、制御部16は、ステップS136において、演算されたコンテンツ値が本日の始値の50%増より大きいかな否かを判定する。これは、一日での急激な価

格変動を防止するためのリミッタである。400円<450円であるので、制御部16は、ステップS137に処理を進め、コンテンツ値を400円に決定する。

#### 【0112】

そして、表4(A)に示す投資金額データベースの対応するコンテンツ値、決定されたコンテンツ値での売買合計を更新する。後に、この売買合計の総計は本システムを運営するサーバ装置10管理者の収益となる。表4(A)に示すように本売買でのサーバ装置10管理者の収益は80000円となる。

#### 【0113】

ここでは、価格の上限のリミッタのみを考慮しているが、価格の下限、価格変動の下限をリミットしてもかまわない。

#### 【0114】

図16に沿って他のコンテンツ計算方法について説明する。ここで、コンテンツ値計算は、同様にサーバ装置10の制御部16が行う。コンテンツ値は、現在400円である。制御部16は、上述したステップS113において計数される10分間におけるダウンロード数とアップロード数の数をステップS141で計数する。ダウンロード数とアップロード数が1500と300であるとき、ステップS142において、価格変動値を(ダウンロード数-アップロード数)×定数として演算する。ここでは定数を0.5とすると、価格変動値は+600円となる。

#### 【0115】

次に、制御部16は、ステップS143において、価格変動値が200円より大きいかな否かを判定する。価格変動値は+600円であるので、制御部16は、ステップS144に進み、価格変動値を200円に設定し、ステップS145で価格変動値を+200円に決定する。

#### 【0116】

更に、制御部16は、ステップS146に進み、コンテンツ値が $400 + 200 = 600$ 円と演算される。



## 【0117】

次に、制御部16は、ステップS147において、演算されたコンテンツ値が本日の始値の50%増より大きいかな否かを判定する。600円>450円であるので、制御部16は、ステップS148に進み、コンテンツ値を450円に設定し、更に、ステップS149に進み、コンテンツ値を450円に決定する。

## 【0118】

そして、表4(A)の投資金額データベースの対応するコンテンツ値、決定されたコンテンツ値での売買合計を更新する。表4(B)に示すように、本売買でのサーバ装置10管理者の収益は540000円となる。

## 【0119】

図17に沿って更に他のコンテンツ計算方法を説明する。コンテンツ値計算は、同様にサーバ装置10の制御部16で行う。コンテンツ値は現在450円である。制御部16は、上述したステップS113において計数される10分間におけるダウンロード数とアップロード数の数をステップS151で計数する。ダウンロード数とアップロード数が600と1000であるとき、ステップS152において、価格変動値を(ダウンロード数-アップロード数)×定数として演算する。ここでは定数を0.5とすると、価格変動値は-200円となる。

## 【0120】

次に、制御部16は、ステップS153において、価格変動値が200円より大きいかな否かを判定する。価格変動値は-200円であるので、制御部16は、ステップS154に進み、価格変動値を-200円に決定する。

## 【0121】

更に、ステップS155において、制御部16は、コンテンツ値が $450 - 200 = 250$ 円と演算される。

## 【0122】

次に、制御部16は、ステップS156において、演算されたコンテンツ値が本日の始値の50%増より大きいかな否かを判定する。250円<450円であるので、制御部16は、ステップS157に進み、コンテンツ値を250円に決定する。

## 【0123】

そして、表4（A）の投資金額データベースの対応するコンテンツ値、決定されたコンテンツ値での売買合計を更新する。図17に示すように、本売買でのサーバ装置10管理者の収益は-100000円となる。

## 【0124】

図18に沿って更に他のコンテンツ計算方法を説明する。コンテンツ値計算は、同様にサーバ装置10の制御部16で行う。コンテンツ値は現在250円である。制御部16は、上述したステップS113において計数される10分間におけるダウンロード数とアップロード数の数をステップS161で計数する。ダウンロード数とアップロード数が400と1000であるとき、ステップS162において、価格変動値を（ダウンロード数-アップロード数）×定数として演算する。ここでは定数を0.5とすると、価格変動値は-300円となる。

## 【0125】

次に、制御部16は、ステップS163において、価格変動値が200円より大きいかな否かを判定する。価格変動値は-300円であるので、制御部16は、ステップS164に処理を進め、価格変動値を-300円に決定する。

## 【0126】

更に、ステップS165に進み、制御部16は、コンテンツ値が $250 - 300 = -50$ 円と演算される。

## 【0127】

次に、制御部16は、ステップS166において、演算されたコンテンツ値が本日の始値の50%増より大きいかな否かを判定する。 $-50$ 円 $<$ 450円であるので、制御部16は、ステップS167に進み、コンテンツ値をマイナスの価格からフリーダウンロードを許可する0円に変更し決定する。

## 【0128】

そして、表4に示す投資金額データベースの対応するコンテンツ値、決定されたコンテンツ値での売買合計を更新する。図18に示すように、本売買でのサーバ装置10管理者の収益は0円となる。

## 【0129】

更に、図14の第1例のフローチャートの説明を続ける。上述のように制御部16によりコンテンツ値演算、データベースの更新が完了すると、処理は、ステップS117に進む。ステップS117において、制御部16は、一ヶ月経ったか否かを例えば判断する。一ヶ月経っていないとき、制御部16は、ステップS111に処理を戻し、再びダウンロード、アップロードの待機状態を続ける。本フローチャートにおいては、ダウンロード、アップロードの売買及び利用者、アーティストへの配当のための処理を一ヶ月毎に一括で行うように構成されている。ダウンロード、アップロードの売買に関して例えば10分間毎に処理するように構成してもよい。

## 【0130】

制御部16により一ヶ月目であると判定されると、処理は、ステップS118に進む。制御部16において、サーバ装置10管理者の利益に基づき、利用者及びアーティストへの配当が演算される。これを図19を用いて説明する。ここでは、一つのコンテンツのみによる配当を示し、図15～図18で示した収益の合計520000円を基に演算する。

## 【0131】

先ず、利用者への配当には、サーバ装置10管理者の利益520000円のうち10%を割りあてる。そして、このコンテンツの現在のダウンロード数（正確には、利用者がそのコンテンツを現在所有する総数）が10000であるとする、そのコンテンツ1つを所有するにつき、5.2円の配当が利用者に割り当てられる。例えば、同じコンテンツを3つ所有する利用者は $5.2 \times 3 = 15.6$ 円の配当を得る。

## 【0132】

次に、アーティストへの配当としては、サーバ装置10管理者の利益520000円のうち40%を割り当てる。すなわち、アーティストへの配当は、208000円である。すると、サーバ装置10管理者の最終的な利益は260000円となる。

## 【 0 1 3 3 】

次に、ステップ S 1 1 9 に進み、制御部 1 6 は、利用者、アーティストへの配当演算及びサーバ装置 1 0 管理者の利益演算結果に基づき投資金額データベースを更新する。具体的に、制御部 1 6 は、サーバ装置利益データ、利用者配当データ、アーティスト配当データを更新する。

## 【 0 1 3 4 】

更に、ステップ S 1 2 0 に進み、制御部 1 6 は、課金センタ 1 0 0 に、サーバ ID と、利用者及びアーティスト口座へのアクセス要求を専用線 1 1 0 を介して送信する。

## 【 0 1 3 5 】

課金センタ 1 0 0 の制御部 1 0 3 は、ステップ S 1 2 1 において、アクセス要求受信待機状態である。サーバ装置 1 0 よりサーバ ID とアクセス要求が受信されると、ステップ S 1 2 2 において、制御部 1 0 3 は、サーバ ID より認証処理を行う。このとき、予め利用者及びアーティストが本システムのサービス用に銀行口座を指定している。この銀行口座指定処理により課金センタ 1 0 0 の記憶部 1 0 4 には、本システムのサーバ ID と、利用者口座用鍵及びアーティスト口座用鍵とが対応して記憶される。このため、制御部 1 0 3 は、受信されるサーバ ID と記憶されるサーバ ID とを照合することにより認証が取れるようになっている。

## 【 0 1 3 6 】

受信されるサーバ ID と記憶されるサーバ ID の対応より認証がとれないとき、制御部 1 0 3 は、ステップ S 1 2 3 に進み、非認証信号をサーバ装置 1 0 に送信する。制御部 1 0 3 による認証がとれると、ステップ S 1 2 4 に進み、利用者口座用鍵とアーティスト口座用鍵がサーバ装置 1 0 に送信される。

## 【 0 1 3 7 】

サーバ装置 1 0 の制御部 1 6 は、ステップ S 1 2 5 に進み、課金センタ 1 0 0 より非認証信号を受信すると処理を終了する。課金センタ 1 0 0 より利用者口座用鍵及びアーティスト口座用鍵を受信すると処理をステップ S 1 2 6 に進める。ステップ S 1 2 6 において、制御部 1 0 3 は、利用者口座用鍵、アーティスト口

座用鍵、予めサーバ装置に記憶されているサーバ口座用鍵、売買合計データ、利用者及びアーティスト配当データ、サーバ利益データを課金センタ100に送信する。そして、制御部16は、送信完了すると処理を終了する。

## 【0138】

課金センタ100の制御部103は、ステップS127において、利用者及びアーティスト口座用鍵等の受信待機状態にある。データが受信される処理をステップS128に進め、制御部103は、表4(B)に示す記憶部104に記憶されるデータベースの更新処理を行う。

## 【0139】

利用者口座用鍵により利用者口座管理データにアクセスし、利用者毎の売買合計に基づいて日付、出入履歴、残金を更新する。更に、利用者への配当データに基づいて日付、出入履歴、残金を更新する。

## 【0140】

アーティスト口座用鍵によりアーティスト口座管理データにアクセスし、アーティスト毎の配当データに基づいて日付、出入履歴、残金を更新する。

## 【0141】

サーバ口座用鍵によりサーバ口座管理データにアクセスし、サーバ利益に基づいて日付、出入履歴、残金を更新する。

## 【0142】

更に、口座管理データの更新に基づいて制御部103は、ステップS129において、表4(B)に示す銀行IDの銀行口座に対する決済処理をインタフェース101を介して銀行センタ160と送受信することにより自動的に行う。すなわち、口座管理データの更新は、そのまま銀行口座データの更新に反映される。そして、この口座管理データの更新が完了すると、課金センタ100の制御部103は、処理を終了する。

## 【0143】

上述のように、図14の処理により、個人アーティストが自分自身が製作したコンテンツをサーバ装置10に登録し、利用者がそのコンテンツ、例えば楽曲のダウンロード及びアップロードを繰り返す。すると、コンテンツの値段が変動す

るように制御されるので、ダウンロードされることが多いコンテンツは高額となりコンテンツにプレミアがつく。これより、プレミアがつくようなコンテンツを予想して利用者がダウンロードするという今までにないゲーム性を与えることができる。

【0144】

更に、利用者によるコンテンツのダウンロード、アップロードの繰り返しより、サーバ装置10管理者は利益が得られ、その利益のうちの何%かを利用者及びコンテンツを登録するアーティストに配当する決済処理機能を備える。これより、利用者はヒットするアーティストを発掘すると対価を得ることができるというメリットがある。また、アーティストは、ダウンロードが多くなるようなコンテンツを登録すると多くの対価を得ることができる。

【0145】

次に、図20のフローチャートを用いて、音楽事務所、レコード会社等の事務所に所属するアーティストによりサーバ装置10に登録されたコンテンツを移動体端末装置80の利用者がダウンロード、アップロードする際の動作を説明する。

【0146】

サーバ装置10の制御部16は、ステップS171において、事務所及びアーティストデータの登録処理を行う。具体的には、アーティスト或いは事務所関係者が自身のPC等によりサーバ装置10に直接アクセスし、事務所ID、アーティストID、コンテンツをサーバ装置10に送信する。サーバ装置10は、表5(A)に示す記憶部11に記憶されるデータベースに事務所ID、アーティストID、コンテンツIDがポインタとなり指し示すコンテンツデータ、コンテンツの初期の値段、すなわち、コンテンツの始値(コンテンツ値)を記憶する。

【0147】

【表5】

サーバID	アーティストID	コンテンツID	コンテンツ値	ユーザID	ダウンロード数	アップロード数	売買合計	サーバ利益
事務所ID 000事務所	MIKE	AAA	100	A123B	1	0	100	260000
				A325B	2	1	100	
				A457C	5	1	400	
		AAA2	120	B875D	2	2	0	
	CAR	BBB	200	D451A	2	1	200	
△△△事務所	CAT	CCC	1000	F719B	2	0	2000	

(A)

ユーザ配当	事務所配当	ユーザ口座用鍵	事務所口座用鍵	サーバ口座用鍵
1	200000	k1	X1	Se
1		k2		
4		k3		
0		k4		
10		k5		
100		k6	X2	

ID	銀行ID	口座番号	日付	出入履歴	残金	口座用鍵
A123B	○△銀行	123456789	2000.02.10	10000	110000	k1
			2000.02.13	10000	120000	
			2000.02.15	-20000	100000	
			2000.02.15	-20000	80000	
			2000.02.18	-30000	50000	
			2000.02.20	-10000	40000	
△△△事務所 x 銀行	321456785		2000.02.05	-20000	100000	X2
SERVER1	△△銀行	548795431	2000.02.13	-10000	90000	
			2000.02.13	260000	260000	Se

(B)

【0148】

サーバ装置10の制御部16は、ステップS172において、アーティストデータを移動体端末装置80に送信する。アーティストデータは、アーティストI

D、コンテンツID、コンテンツ値である。移動体端末装置80の制御部87は、ステップS173において、アーティストデータの受信待機状態にある。制御部87は、アーティストデータを受信完了すると、ステップS174に進み、表示部95にアーティストデータを表示する。

## 【0149】

制御部87は、ステップS175において、利用者によるコンテンツデータの指示部94によるダウンロード指示を受け付けると、ステップS176に進み、利用者IDとコンテンツIDをサーバ装置10に送信する。制御部87は、ステップS177において、サーバ装置10から送信される利用者ID、コンテンツID、コンテンツデータの受信待機状態となる。受信が完了すると、制御部87は、ステップS108に進む。

## 【0150】

また、制御部87は、ステップS175において利用者によるコンテンツデータのダウンロード指示がないと、S508に進む。制御部87は、ステップS178において利用者により以前ダウンロードされRAM93に記憶されるコンテンツをアップロードする指示が指示部94より与えられると、ステップS179に進み、利用者IDとコンテンツをサーバ装置10に送信する。制御部87は、ステップS178において、利用者によるコンテンツのアップロード指示がないと、S510に進む。

## 【0151】

制御部87は、利用者による終了指示があるか否かを判定し、ないときには、ステップS174に戻り、再び同じアーティストデータを表示するか、既に記憶部11に記憶されているアーティストデータを表示する。一方、制御部87が利用者による終了指示があると判定するときには、移動体端末装置80での処理を終了する。

## 【0152】

サーバ装置10の制御部16は、ステップS181において、利用者ID、コンテンツIDの受信待機状態にある。受信されないとき、ステップS182に進み、制御部16は、利用者ID、コンテンツの受信待機状態となる。利用者ID



、コンテンツも受信されないとき、ステップ S 1 8 1 に戻り、利用者 I D、コンテンツ I D、コンテンツの受信待機状態を続ける。

【 0 1 5 3 】

ステップ S 1 8 1 において、利用者 I D とコンテンツ I D が受信されると、制御部 1 6 は、ステップ S 1 8 3 に進む。ステップ S 1 8 3 において、制御部 1 6 は、ステップ S 1 8 1 において受信された利用者のダウンロードリクエストに応じて利用者 I D、コンテンツ I D、コンテンツデータを移動体端末装置に送信し、送信が完了すると、ステップ S 1 8 4 に進む。

【 0 1 5 4 】

制御部 1 6 は、ステップ S 1 8 4 において、表 5 ( A ) に示すデータベースを更新する。例えば、利用者 I D とコンテンツ I D が受信されるとき ( ダウンロード ) 、コンテンツ I D に対応して利用者 I D を記憶する。また、ダウンロード数を 1 つインクリメントする。ここでは利用者の一回のダウンロード指示では、コンテンツ 1 つに対して 1 回のダウンロードを許可するように構成しているが、一回のダウンロードで同じコンテンツを、或いは異なるコンテンツを複数ダウンロードできるようにしてもよい。

【 0 1 5 5 】

次に、利用者 I D とコンテンツが受信されるとき ( アップロード ) 、利用者 I D、コンテンツに対応するアップロード数を 1 つインクリメントする。ここでは利用者の一回のアップロード指示では、コンテンツ 1 つに対して 1 回のアップロードを許可するように構成しているが、一回のアップロードで同じコンテンツを複数アップロード、或いは異なるコンテンツを複数アップロードできるようにしてもよい。

【 0 1 5 6 】

制御部 1 6 は、ステップ S 1 8 4 における投資金額データベースの更新を完了すると、ステップ S 1 8 5 に進む。制御部 1 6 は、ステップ S 1 8 5 において、所定時間が計数されたか否かを判定する。ここでは、所定時間を 1 0 分とする。すなわち、ステップ S 1 8 5 では、制御部 1 6 が 1 0 分おきにステップ S 1 8 6 の処理に進むように動作制御する。

【0157】

制御部16は、ステップS186において、表5(A)に示す投資金額データベースに応じてコンテンツ値を演算するとともに、データベースのコンテンツ値、及び売買合計を更新する。ここで、コンテンツ値計算方法は図15～図18に示す方法と同様である。

【0158】

制御部16によりコンテンツ値演算、データベースの更新が完了すると、処理はステップS187に進む。ステップS187において、制御部16は、一ヶ月経ったか否かを例えば判断する。一ヶ月経っていないとき、制御部16は、ステップS181に戻り、再びダウンロード、アップロードの待機状態を続ける。

【0159】

本フローチャートにおいては、ダウンロード、アップロードでの売買及び利用者、アーティストへの配当のための処理を一ヶ月毎に一括で行うようにしている。ダウンロード、アップロードの売買に関して例えば10分間毎に処理するように構成してもよい。

【0160】

制御部16により一ヶ月目であると判定されると、処理は、ステップS188に進む。制御部16において、サーバ装置10管理者の利益に基づき、利用者及び事務所への配当が演算される。これを図21を用いて説明する。ここでは一つのコンテンツのみによる配当を示し、図15～図18で示した収益の合計520000円を基に演算する。ここで、事務所への配当の演算は、当然複数のコンテンツのサーバ装置10管理者の利益より分配するようにしてもよい。

【0161】

まず、利用者への配当としてはサーバ装置10管理者の利益520000円のうち10%を割りあてる。そして、そのコンテンツの現在のダウンロード数（正確には、利用者がそのコンテンツを現在所有する総数）が10000であるとすると、そのコンテンツ1つを所有するにつき、5.2円の配当を利用者に割り当てる。例えば、同じコンテンツを3つ所有する利用者は $5.2 \times 3 = 15.6$ 円の配当を得る。

【0162】

次に、事務所への配当としてはサーバ装置10管理者の利益520000円のうち40%を割り当てる。すなわち、事務所への配当は208000円である。すると、サーバ装置10管理者の最終的な利益は260000円となる。

【0163】

次に、ステップS189に進み、制御部16は、利用者、アーティストへの配当演算及びサーバ装置10管理者の利益演算結果に基づき投資金額データベースを更新する。具体的には、サーバ利益データ、利用者配当データ、事務所配当データを更新する。

【0164】

更に、ステップS190に進み、制御部16は、課金センタ100に、サーバIDと、利用者及び事務所口座へのアクセス要求を専用線110を介して送信する。課金センタ100の制御部103は、ステップS191において、アクセス要求受信待機状態にある。サーバ装置10よりサーバIDとアクセス要求が受信されると、ステップ192において、制御部103は、サーバIDより認証処理を行う。このとき、予め利用者及び事務所が本システムのサービス用に銀行口座を指定している。この銀行口座指定処理により課金センタ100の記憶部104には、本システムのサーバIDと、利用者口座用鍵及び事務所口座用鍵とが対応して記憶される。このため、制御部103は、受信されるサーバIDと記憶されるサーバIDとを照合することにより認証が取れるように構成されている。

【0165】

受信されるサーバIDと記憶されるサーバIDの対応より認証がとれないときには、ステップS193に進み、制御部103は、非認証信号をサーバ装置10に送信する。制御部103による認証がとれると、ステップS194に進み、利用者口座用鍵と事務所口座用鍵がサーバ装置10に送信される。

【0166】

サーバ装置10の制御部16は、ステップS195に進み、課金センタ100より非認証信号を受信すると処理を終了する。制御部16は、課金センタ100より利用者口座用鍵及び事務所口座用鍵を受信すると処理をステップS196に

進める。ステップ S 1 9 6 において、制御部 1 0 3 は、利用者口座用鍵、事務所口座用鍵、予めサーバに記憶されているサーバ口座用鍵、売買合計データ、利用者及び事務所配当データ、サーバ利益データを課金センタ 1 0 0 に送信する。制御部 1 6 は送信完了すると処理を終了する。

【 0 1 6 7 】

課金センタ 1 0 0 の制御部 1 0 3 は、ステップ S 1 9 7 において、利用者及び事務所口座用鍵等の受信待機状態にある。データが受信される処理をステップ S 1 9 8 に進め、制御部 1 0 3 は、表 5 ( B ) に示す記憶部 1 0 4 に記憶されるデータベースの更新処理を行う。

【 0 1 6 8 】

利用者口座用鍵により利用者口座管理データにアクセスし、利用者毎の売買合計に基づいて日付、出入履歴、残金を更新する。更に、利用者への配当データに基づいて日付、出入履歴、残金を更新する。事務所口座用鍵により事務所口座管理データにアクセスし、事務所毎の配当データに基づいて日付、出入履歴、残金を更新する。サーバ口座用鍵によりサーバ口座管理データにアクセスし、サーバ利益に基づいて日付、出入履歴、残金を更新する。

【 0 1 6 9 】

更に、口座管理データの更新に基づいて制御部 1 0 3 は、ステップ S 1 9 9 において、表 5 ( B ) に示す銀行 I D の銀行口座に対する決済処理をインタフェース 1 0 1 を介して銀行センタ 1 6 0 と送受信することにより自動的に行う。すなわち、口座管理データの更新はそのまま銀行口座データの更新に反映される。そして、この口座管理データの更新が完了すると課金センタ 1 0 0 の制御部 1 0 3 は処理を終了する。

【 0 1 7 0 】

上述のように、図 2 0 の処理により、事務所が、或いはその事務所に所属するアーティストが、製作したコンテンツをサーバ装置 1 0 に登録し、利用者がそのコンテンツ、例えば楽曲のダウンロード及びアップロードを繰り返す。すると、コンテンツの値段が変動するように制御されるので、ダウンロードされることが多いコンテンツは高額となりコンテンツにプレミアがつく。これより、プレミア

がつくようなコンテンツを予想して利用者がダウンロードするという今までにないゲーム性を与えることができる。

【0171】

更に、利用者によるコンテンツのダウンロード、アップロードの繰り返しより、サーバ装置10の管理者は、利益が得られ、その利益のうちの何%かを利用者及びコンテンツを登録するアーティストに配当する決済処理機能を備える。これより、利用者はヒットするアーティストを発掘すると対価を得ることができるというメリットがある。また、事務所は、ダウンロードが多くなるようなコンテンツを登録すると多くの対価を得ることができる。更に、図23に示すように事務所からアーティストに給与とともにその配当を分配するようにすればアーティストにとっても大きな利益を得ることが可能である。

【0172】

次に、図22を用いて、音楽事務所、レコード会社等の事務所に所属するアーティストによりサーバ装置10に登録されたコンテンツを移動体端末装置80の利用者がダウンロード、アップロードする際の動作について説明する。本例は、小売店或いは音楽事務所から提供される売上データに応じて利用者、事務所、小売店への配当を行うものである。

【0173】

サーバ装置10の制御部16は、ステップS201において、事務所及びアーティストデータの登録処理を行う。具体的には、アーティスト或いは事務所関係者が自身のPC等によりサーバ装置10に直接アクセスし、事務所ID、アーティストID、コンテンツをサーバ装置10に送信する。サーバ装置10は、表6(A)に示す記憶部11に記憶されるデータベースに事務所ID、アーティストID、コンテンツID、コンテンツIDがポインタとなり指し示すコンテンツデータ、コンテンツの初期の値段、すなわち、コンテンツの始値(コンテンツ値)を記憶する。

【0174】

【表6】

サーバID	アーティストID	コンテンツID	コンテンツ値	小売店ID	売上	ユーザID	ダウンロード数	アップロード数
事務所ID	アーティストID	コンテンツID	コンテンツ値	小売店ID	売上	ユーザID	ダウンロード数	アップロード数
000事務所	MIKE	AAA	100	red	100000	A123B	1	0
				yellow	150000	A325B	2	1
				blue	100000	A457C	5	1
	AAA2		120		0	B875D	2	2
	CAR	BBB	200	brown	200000	D451A	2	1
△△△事務所	CAT	CCC	1000	black	1200000	F719B	2	0

売買合計	サーバ利益	ユーザ配当	事務所配当	小売店配当	ユーザ口座用鍵	事務所口座用鍵	サーバ口座用鍵	小売店口座用鍵
100	260000	1	200000	1000	k1	X1	Sa	Y1
100		1		1500	k2			Y2
400		4		100	k3			Y3
0		0		0	k4			
200		10		200	k5			Y4
2000		100		1200	k6	X2		Y5

ID	銀行ID	口座番号	日付	出入履歴	残金	口座用鍵
A123B	○△銀行	123456789	2000.02.10	10000	110000	k1
			2000.02.13	10000	120000	
			2000.02.15	-20000	100000	
			2000.02.15	-20000	80000	
			2000.02.18	-30000	50000	
			2000.02.20	-10000	40000	
△△△事務所	×■銀行	321456785	2000.02.05	-20000	100000	X2
			2000.02.13	-10000	90000	
red	△◎銀行	321456785	2000.02.06	-20000	100000	Y1
			2000.02.13	-10000	90000	
SERVER1	△△銀行	548795431	2000.02.13	260000	260000	Sa

【0175】

サーバ装置10の制御部16は、ステップS202において、アーティストデータを移動体端末装置80に送信する。アーティストデータは、アーティストI

D、コンテンツID、コンテンツ値である。

【0176】

移動体端末装置80の制御部87は、ステップS203において、アーティストデータの受信待機状態にある。制御部87は、アーティストデータを受信完了すると、ステップS204に進み、表示部95にアーティストデータを表示させる。

【0177】

制御部87は、ステップS205において、利用者によるコンテンツデータの指示部94によるダウンロード指示を受け付けると、ステップS206に進み、利用者IDとコンテンツIDをサーバ装置10に送信する。制御部87は、ステップS207において、サーバ装置10から送信される利用者ID、コンテンツID、コンテンツデータの受信待機状態となる。受信が完了すると、制御部87は、ステップS208に進む。

【0178】

また、制御部87は、ステップS205において、利用者によるコンテンツデータのダウンロード指示がないと、S608に進む。制御部87は、ステップS208において利用者により以前ダウンロードされRAM93に記憶されるコンテンツをアップロードする指示が指示部94より与えられると、ステップS209に進み、利用者IDとコンテンツをサーバ装置10に送信する。制御部87は、ステップS208において利用者によるコンテンツのアップロード指示がないと、S610に進む。

【0179】

制御部87は、利用者による終了指示があるか否かを判定し、ないときには、ステップS204に戻り、再び同じアーティストデータを表示するか、既に記憶部11に記憶されているアーティストデータを表示する。一方、制御部87が利用者による終了指示があると判定するときには移動体端末装置80での処理を終了する。

【0180】

サーバ装置10の制御部16は、ステップS211において、表6(A)のデ

ータベースに記録されるコンテンツIDの売上データの受信待機状態にある。ここで、売上データは、音楽事務所、或いは小売店がPC等によりサーバ装置10に直接アクセスし、小売店ID（或いは音楽事務所ID）、コンテンツIDと売上データをサーバ装置10に送信する。ステップS211において、制御部16が小売店ID、コンテンツID、と各コンテンツIDに対応する売上データを受信するとS612に進む。

## 【0181】

サーバ装置10の制御部16は、ステップS212において利用者ID、コンテンツIDの受信待機状態にある。受信されないとき、ステップS213に進み、利用者ID、コンテンツの受信待機状態となる。利用者ID、コンテンツも受信されないとき、ステップS212に戻り、利用者ID、コンテンツID、コンテンツの受信待機状態を続ける。

## 【0182】

ステップS212において、利用者IDとコンテンツIDが受信されると、制御部16はステップS214に処理を進める。ステップS214において、制御部16は、ステップS212により受信された利用者のダウンロードリクエストに応じて利用者ID、コンテンツID、コンテンツデータを移動体端末装置に送信する。送信が完了すると、制御部16は処理をS615に進める。制御部16は、ステップS215において、表6（A）に示すデータベースを更新する。例えば、利用者IDとコンテンツIDが受信されるとき（ダウンロード）、コンテンツIDに対応して利用者IDを記憶する。また、ダウンロード数を1つインクリメントする。本実施の形態では利用者の一回のダウンロード指示では、コンテンツ1つに対して1回のダウンロードを許可するように構成しているが、一回のダウンロードで同じコンテンツを、或いは異なるコンテンツを複数ダウンロードできるようにしてもよい。

## 【0183】

次に、利用者IDとコンテンツが受信されるとき（アップロード）、利用者ID、コンテンツに対応するアップロード数を一つインクリメントする。ここでは利用者の一回のアップロード指示では、コンテンツ1つに対して1回のアップロ



ードを許可するように構成しているが、一回のアップロードで同じコンテンツを複数アップロード、或いは異なるコンテンツを複数アップロードできるようにしてもよい。更に、制御部16は、ステップS210において受信された小売店ID、売上データをコンテンツIDに対応して記憶させる。

【0184】

制御部16は、ステップS215における投資金額データベースの更新を完了すると、ステップS216に進む。制御部16は、ステップS216において、所定時間が計数されたか否かを判定する。ここでは、所定時間を10分とする。すなわち、ステップS216では、10分おきにステップS217の処理に進むように制御部16は動作制御する。

【0185】

制御部16は、ステップS217において、表6(A)の投資金額データベースに応じてコンテンツ値を演算するとともに、データベースのコンテンツ値、及び売買合計を更新する。ここで、コンテンツ値計算方法は図15～図18に示す方法と同様である。

【0186】

制御部16によりコンテンツ値演算、データベースの更新が完了すると、処理はステップS218に進む。ステップS218において、制御部16は、一ヶ月経ったか否かを例えば判断する。一ヶ月経っていないとき、制御部16は、ステップS212に処理を戻し、再びダウンロード、アップロードの待機状態を続ける。

【0187】

本フローチャートにおいては、ダウンロード、アップロードの売買及び利用者、事務所、小売店への配当のための処理を一ヶ月毎に一括で行うように構成されている。ダウンロード、アップロードの売買に関して例えば10分間毎に処理するように構成してもよい。

【0188】

制御部16により一ヶ月目であると判定されると、処理はステップS219に進む。

## 【0189】

制御部16において、サーバ装置10の管理者の利益に基づき、利用者及び事務所への配当が演算される。図23を用いて説明する。ここでは一つのコンテンツのみによる配当を示し、図15～図18で示した収益の合計520000円と、売上利益を480000円として演算する。ここで、事務所への配当の演算は、当然複数のコンテンツのサーバ装置10管理者の利益より分配するようにしてもよい。

## 【0190】

まず、利用者への配当としてはサーバ装置10管理者の利益520000円の10%と、そのコンテンツの売上利益の10%をサーバ装置10管理者利益から割りあてる。そして、そのコンテンツの現在のダウンロード数（正確には、利用者がそのコンテンツを現在所有する総数）が10000であるとする、そのコンテンツ1つを所有するにつき、10円の配当を利用者に割り当てる。例えば、同じコンテンツを3つ所有する利用者は $10 \times 3 = 30$ 円の配当を得る。

## 【0191】

次に、事務所への配当としてはサーバ装置10管理者の利益520000円のうち40%と、売上利益の10%を割り当てる。すなわち、事務所への配当は208000+48000円である。

## 【0192】

更に、小売店への配当としてはサーバ装置10管理者の利益520000円のうち10%と、売上利益の10%を割り当てる。すなわち、事務所への配当は52000+48000円である。すると、サーバ装置10管理者の最終的な利益は64000円となる。

## 【0193】

次に、ステップS220に進み、制御部16は、利用者、事務所、小売店への配当演算、及びサーバ装置10管理者の利益演算結果を基に投資金額データベースを更新する。具体的には、サーバ利益データ、利用者配当データ、事務所配当データ、小売店配当データを更新する。

## 【 0 1 9 4 】

更に、ステップ S 2 2 1 に進み、制御部 1 6 は、課金センタ 1 0 0 に、サーバ I D と、利用者、事務所、及び小売店口座へのアクセス要求を専用線 1 1 0 を介して送信する。

## 【 0 1 9 5 】

課金センタ 1 0 0 の制御部 1 0 3 は、ステップ S 2 2 2 において、アクセス要求受信待機状態である。サーバ装置 1 0 よりサーバ I D とアクセス要求が受信されると、ステップ S 2 2 3 において制御部 1 0 3 はサーバ I D より認証処理を行う。このとき、予め利用者、事務所、小売店が本システムのサービス用に銀行口座を指定している。この銀行口座指定処理により課金センタ 1 0 0 の記憶部 1 0 4 には、本システムのサーバ I D と、利用者口座用鍵、事務所口座用鍵、小売店口座用鍵とが対応して記憶される。そのため、制御部 1 0 3 は受信されるサーバ I D と記憶されるサーバ I D とを照合することにより認証が取れるように構成されている。

## 【 0 1 9 6 】

受信されるサーバ I D と記憶されるサーバ I D の対応より認証がとれないとき、ステップ S 2 2 4 に進み、制御部 1 0 3 は、非認証信号をサーバ装置 1 0 に送信する。制御部 1 0 3 による認証がとれると、ステップ S 2 2 5 に進み、利用者口座用鍵、事務所口座用鍵、及び小売店口座用鍵がサーバ装置 1 0 に送信される。

## 【 0 1 9 7 】

サーバ装置 1 0 の制御部 1 6 は、ステップ S 2 2 6 に進み、課金センタ 1 0 0 より非認証信号を受信すると処理を終了する。課金センタ 1 0 0 より利用者口座用鍵、事務所口座用鍵、小売店口座用鍵を受信すると処理をステップ S 2 2 7 に進める。ステップ S 2 2 7 において、制御部 1 0 3 は、利用者口座用鍵、事務所口座用鍵、小売店口座用鍵、予めサーバに記憶されているサーバ口座用鍵、売買合計データ、利用者、事務所、及び小売店配当データ、サーバ利益データを課金センタ 1 0 0 に送信する。制御部 1 6 は送信完了すると処理を終了する。

## 【0198】

課金センタ100の制御部103は、ステップS228において利用者、事務所、及び小売店口座用鍵等の受信待機状態にある。データが受信される処理をステップS229に進め、制御部103は、表6（B）に示す記憶部104に記憶されるデータベースの更新処理を行う。利用者口座用鍵により利用者口座管理データにアクセスし、利用者毎の売買合計に基づいて日付、出入履歴、残金を更新する。更に、利用者への配当データに基づいて日付、出入履歴、残金を更新する。事務所口座用鍵により事務所口座管理データにアクセスし、事務所毎の配当データに基づいて日付、出入履歴、残金を更新する。小売店口座用鍵により小売店口座管理データにアクセスし、事務所毎の配当データに基づいて日付、出入履歴、残金を更新する。サーバ口座用鍵によりサーバ口座管理データにアクセスし、サーバ利益に基づいて日付、出入履歴、残金を更新する。

## 【0199】

更に、口座管理データの更新に基づいて制御部103は、ステップS230において表6（B）に示す銀行IDの銀行口座に対する決済処理をインタフェース101を介して銀行センタ160と送受信することにより自動的に行う。すなわち、口座管理データの更新はそのまま銀行口座データの更新に反映される。

## 【0200】

そして、この口座管理データの更新が完了すると課金センタ100の制御部103は処理を終了する。

## 【0201】

上述のように、図22の処理により、事務所が、或いはその事務所に所属するアーティストが、製作したコンテンツをサーバ装置10に登録し、利用者がそのコンテンツ、例えば楽曲のダウンロード及びアップロードを繰り返す。すると、コンテンツの値段が変動するように制御されるので、ダウンロードされることが多いコンテンツは高額となりコンテンツにプレミアがつく。これより、プレミアがつくようなコンテンツを予想して利用者がダウンロードするという今までにないゲーム性を与えることができる。

## 【0202】

更に、利用者によるコンテンツのダウンロード、アップロードの繰り返しより、サーバ装置10管理者は利益が得られる。また、第3例では、制御部16は、メディアに記録されたコンテンツの売上データによる売上利益に応じて利用者、事務所、小売店への配当を演算し自動決算処理を行う。これより、利用者はヒットするアーティストを発掘すると対価を得ることができるというメリットがある。また、事務所は、ダウンロード、或いは売上が多くなるようなコンテンツを登録すると多くの対価を得ることができる。更に、小売店は多く売れば売上利益だけでなく更にサーバ装置10管理者から配当を得ることが可能である。更に、図23に示すように事務所からアーティストに給与とともにその配当を分配するようにすればアーティストにとっても大きな利益を得ることが可能である。

## 【0203】

なお、以上の例では、金融商品の取引としてコンテンツのアップロード、ダウンロードとしているが、通常の株価取引、先物取引等のような取引であってもよい。また、以上の例では、コンテンツ値が変動するようにしたが、コンテンツ値の価格は固定にし、売り上げに応じて配当が演算されるようにしてもよい。さらには、以上の例では、移動体端末装置として携帯型電話を例としたが移動体であればよく、自動車、PDA、携帯コンピュータ等であってもよい。

## 【0204】

また、第2の実施例の告知手段は表示及び振動であったが、音声でも構わない。例えば、予めメモリに記憶されるピープ音で告知してもよいし、割込み情報とともに送信されるコンテンツIDに応じてそのコンテンツ（楽曲）を再生するようにしてもよい。

## 【0205】

## 【発明の効果】

本発明は、音楽、漫画、絵画、小説、映画等のコンテンツを制作するアーティストに対してコンテンツ（作品）を投稿できる場所を提供するので、優れた才能の持ち主を発掘することができる。更にコンテンツの販売をする際に通常の課金処理と投資を可能とした投資目的個人の課金処理をコンテンツ購買者に選択させ

ることで、優れた才能の持ち主に対して投資を行うことでアーティストが売れた場合に投資に対する対価を支払うことで活発なコンテンツ流通を行うことができる。更に本発明は、コンテンツの売上と投資金額に応じて固定の対価の支払いをすることで株価指数に基づく変動の対価の演算を行う必要がなく負荷の軽いシステムを提供することができる。更に対価の納入の方法として、金銭の授受のみならず品物（アーティストのコンテンツの発表の場のチケット、投資家限定のコンテンツ、アーティスト関連商品）を納入することで音楽市場での活性化を図ることができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明を適用した投資システムの具体的な構成を示すブロック図である。

【図 2】

投資システムの動作を説明するためのフローチャートである。

【図 3】

投資システムの動作を説明するためのフローチャートである。

【図 4】

新人のアーティストを投資の対象とした投資システムの動作を説明するためのフローチャートである。

【図 5】

新曲を投資の対象とした投資システムの動作を説明するためのフローチャートである。

【図 6】

コンテンツの販売における通常の課金処理と投資の課金処理を選択可能とした投資システムの具体的な構成を示すブロック図である。

【図 7】

キオスク端末装置の動作を説明するためのフローチャートである。

【図 8】

キオスク端末装置の表示部に表示される具体的な画像を示す図である。

【図 9】

キオスク端末装置の表示部に表示される具体的な画像を示す図である。

【図 1 0】

投資資金管理会社のホストコンピュータ装置 3 4 の具体的な処理動作を説明するためのフローチャートである。

【図 1 1】

投資資金管理会社のホストコンピュータ装置 3 4 の他の具体的な処理動作を説明するためのフローチャートである。

【図 1 2】

移動体通信システムを利用し、本発明を適用した投資システムの具体的な構成を示すブロック図である。

【図 1 3】

移動体通信投資システムの具体的な構成を示すブロック図である。

【図 1 4】

移動体通信投資システムの動作を説明するためのフローチャートである。

【図 1 5】

コンテンツ値の具体的な計算方法を説明するためのフローチャートである。

【図 1 6】

コンテンツ値の他の具体的な計算方法を説明するためのフローチャートである。

【図 1 7】

コンテンツ値の他の具体的な計算方法を説明するためのフローチャートである。

【図 1 8】

コンテンツ値の他の具体的な計算方法を説明するためのフローチャートである。

【図 1 9】

利用者及びアーティストへの配当を計算する方法を説明するための図である。

【図 20】

移動体通信投資システムの他の具体的な動作を説明するためのフローチャートである。

【図 21】

利用者及び事務所への配当を計算する方法を説明するための図である。

【図 22】

移動体通信投資システムの具体的な動作を説明するためのフローチャートである。

【図 23】

利用者及び事務所への配当を計算する方法を説明するためのフローチャートである。

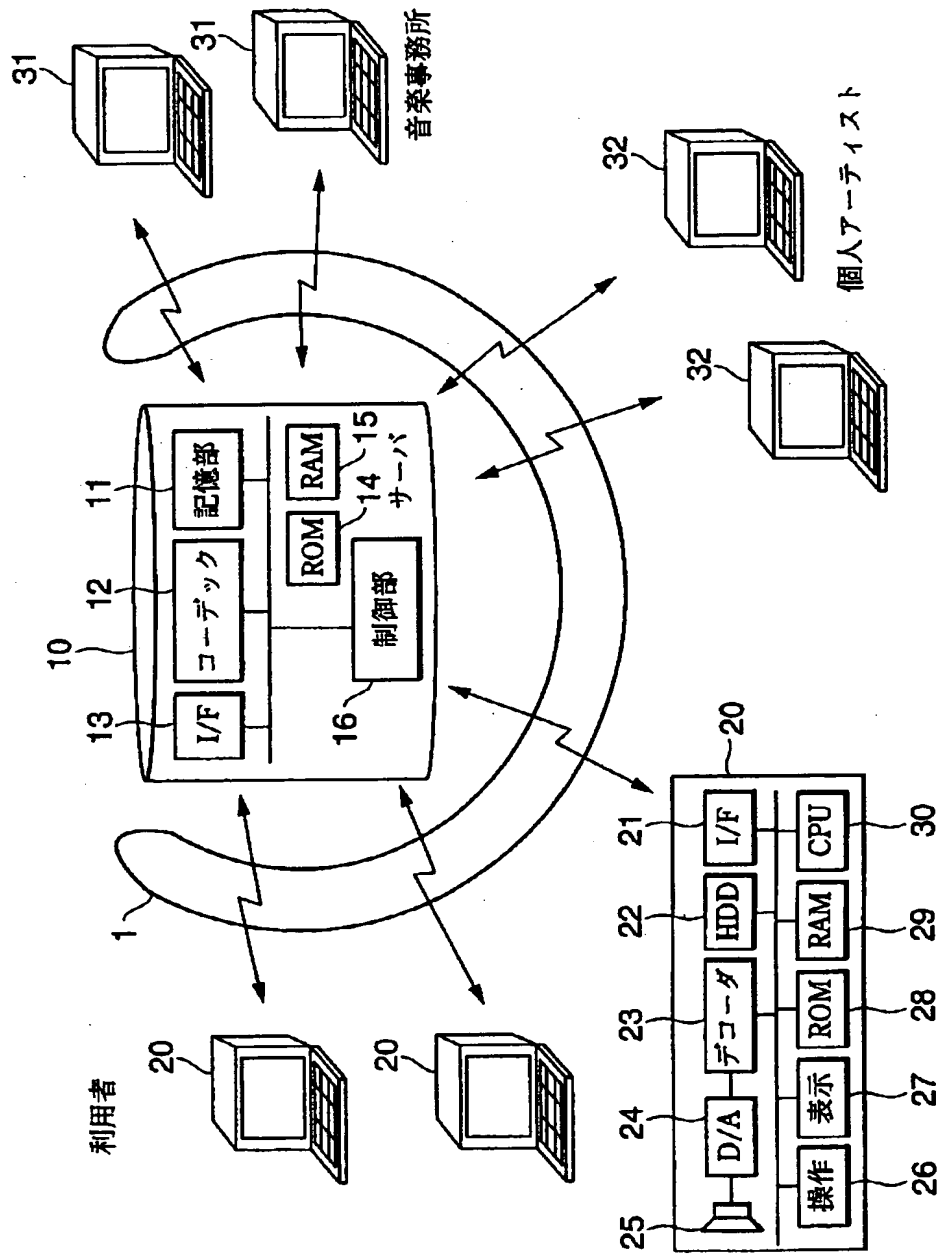
【符号の説明】

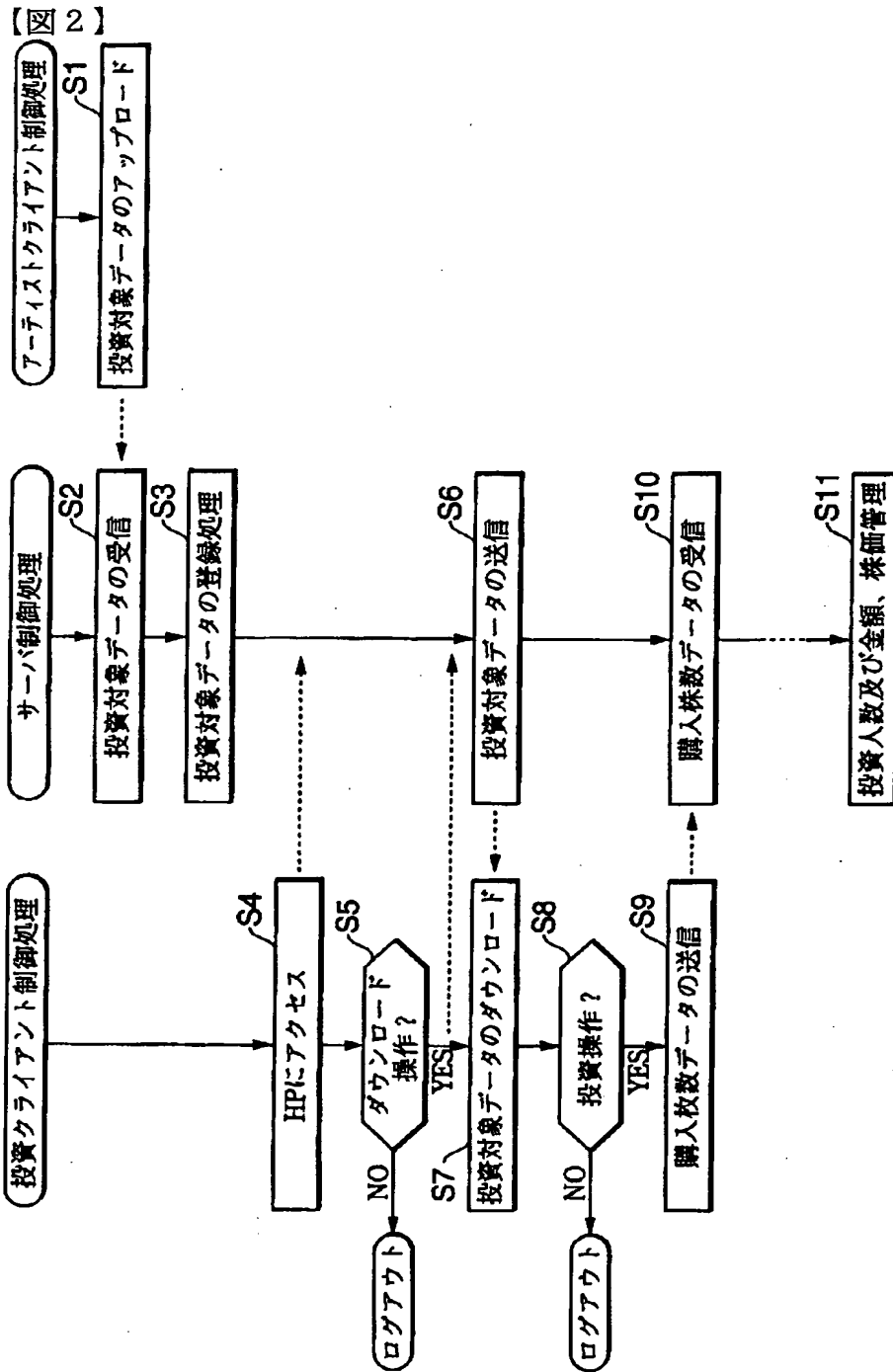
1 インターネット、10 サーバ装置、11 記憶部、16 制御部、20 投資クライアント装置、22 ハードディスク装置、22 デコーダ、24 D/A変換器、25 スピーカ、26 操作部、27 表示部、30 CPU、31 音楽事務所クライアント装置、32 アーティストクライアント装置



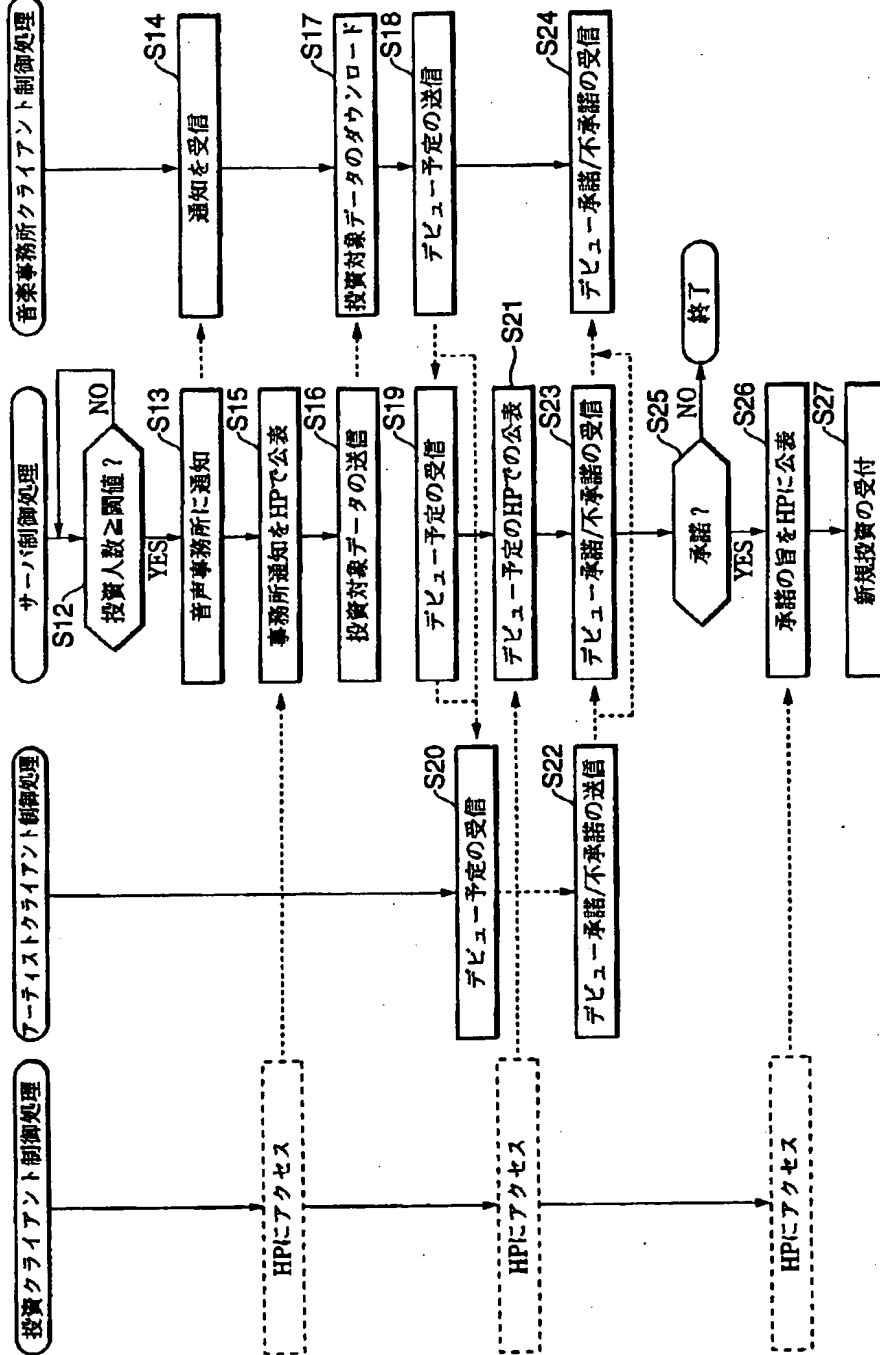
【書類名】 図面

【図 1】

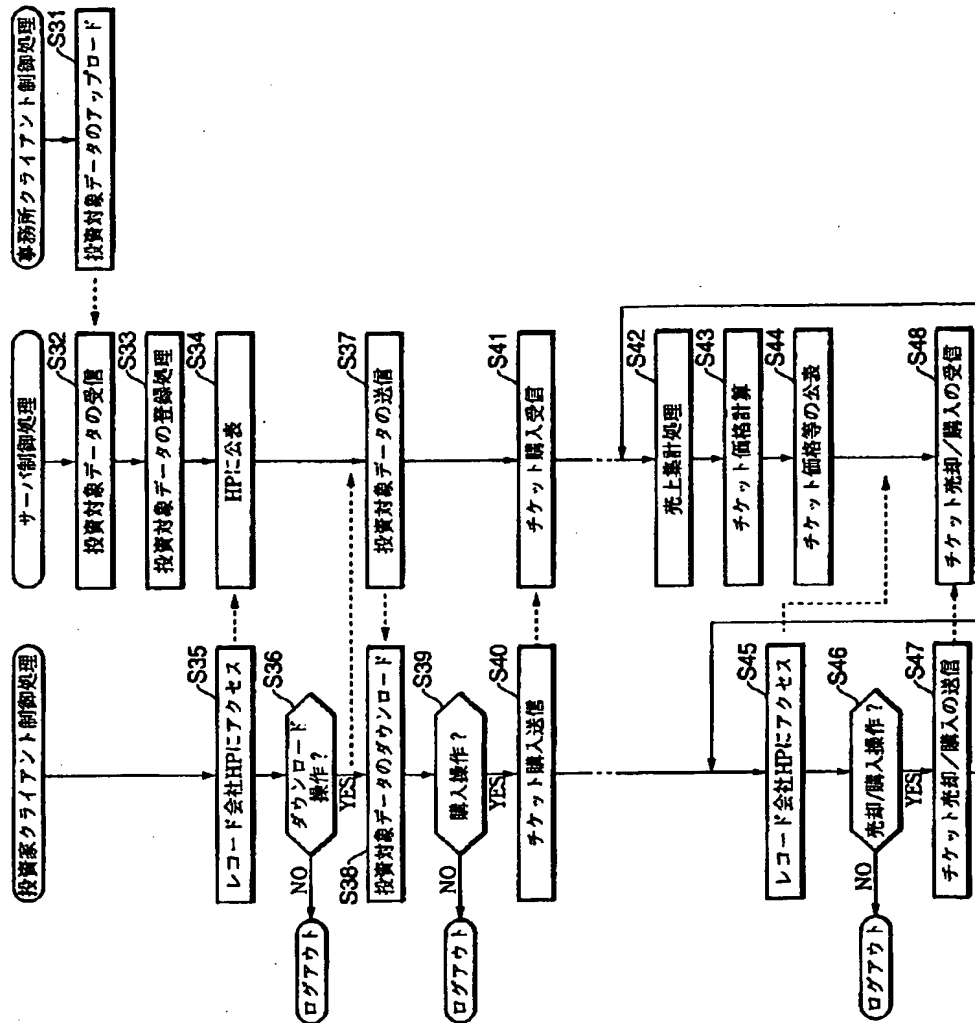




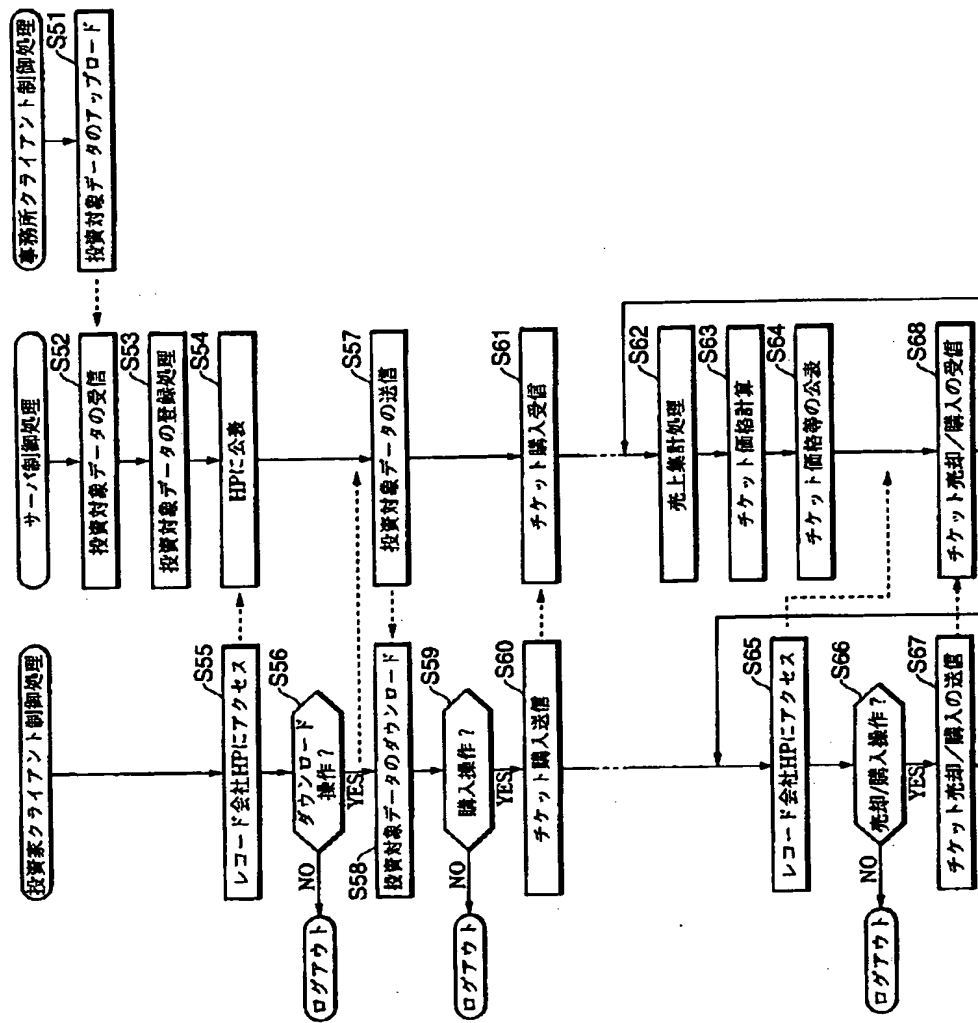
【図 3】



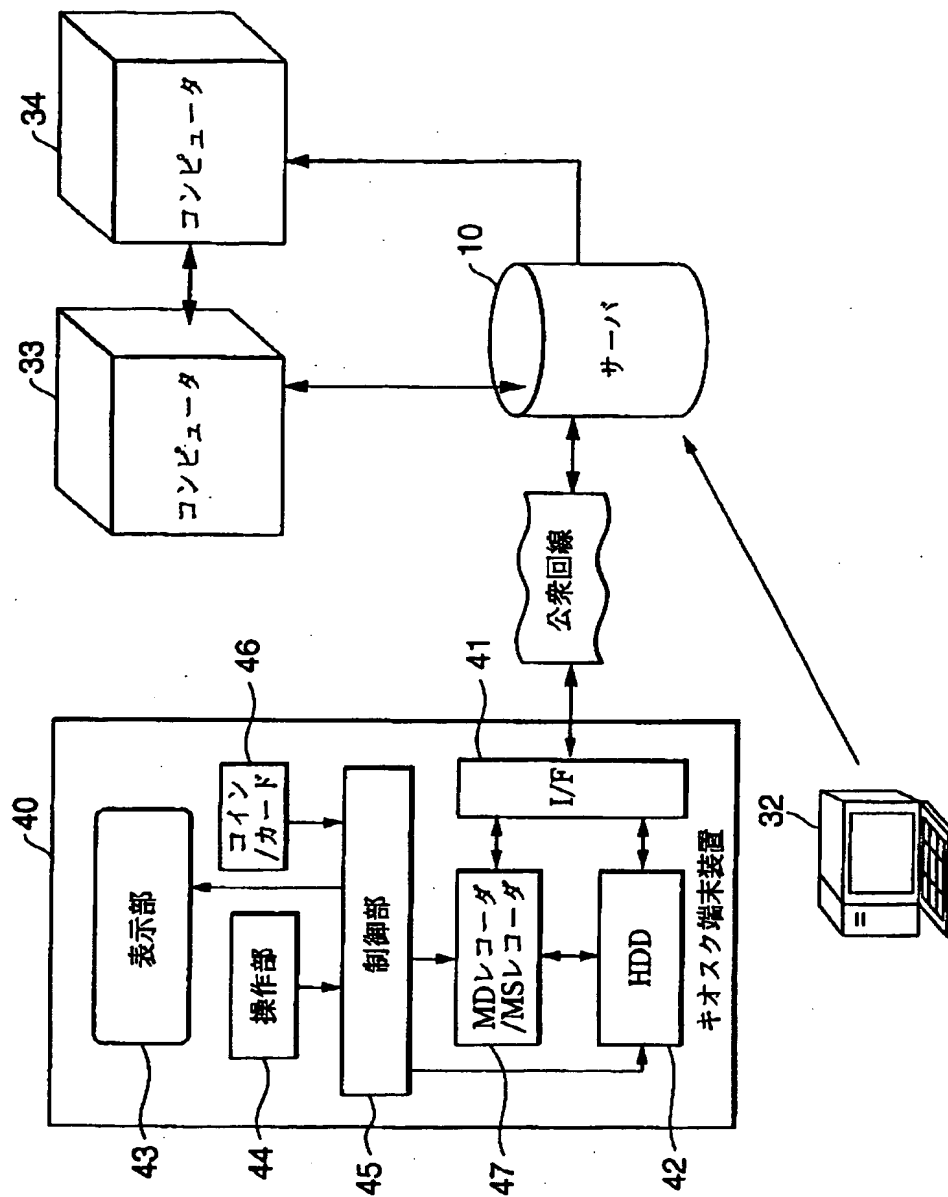
【図4】



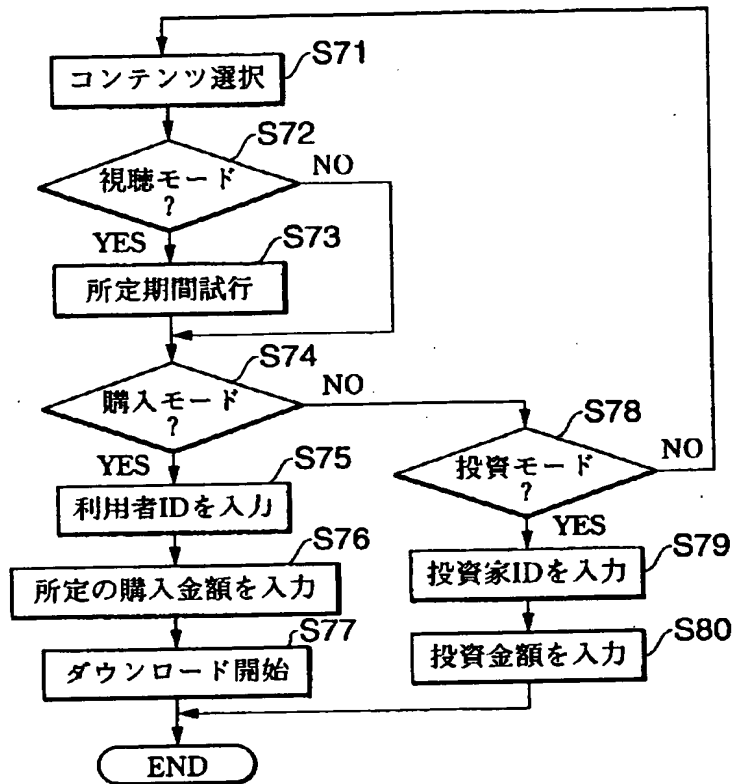
【図 5】



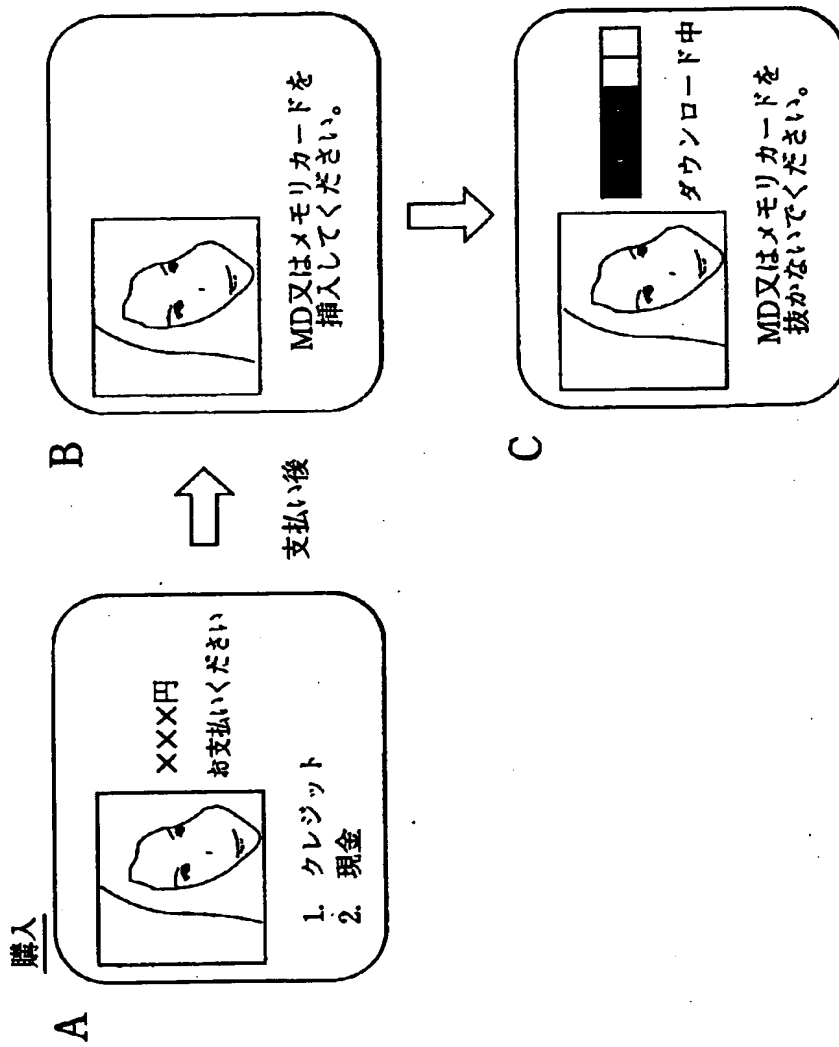
【図6】



【図 7】

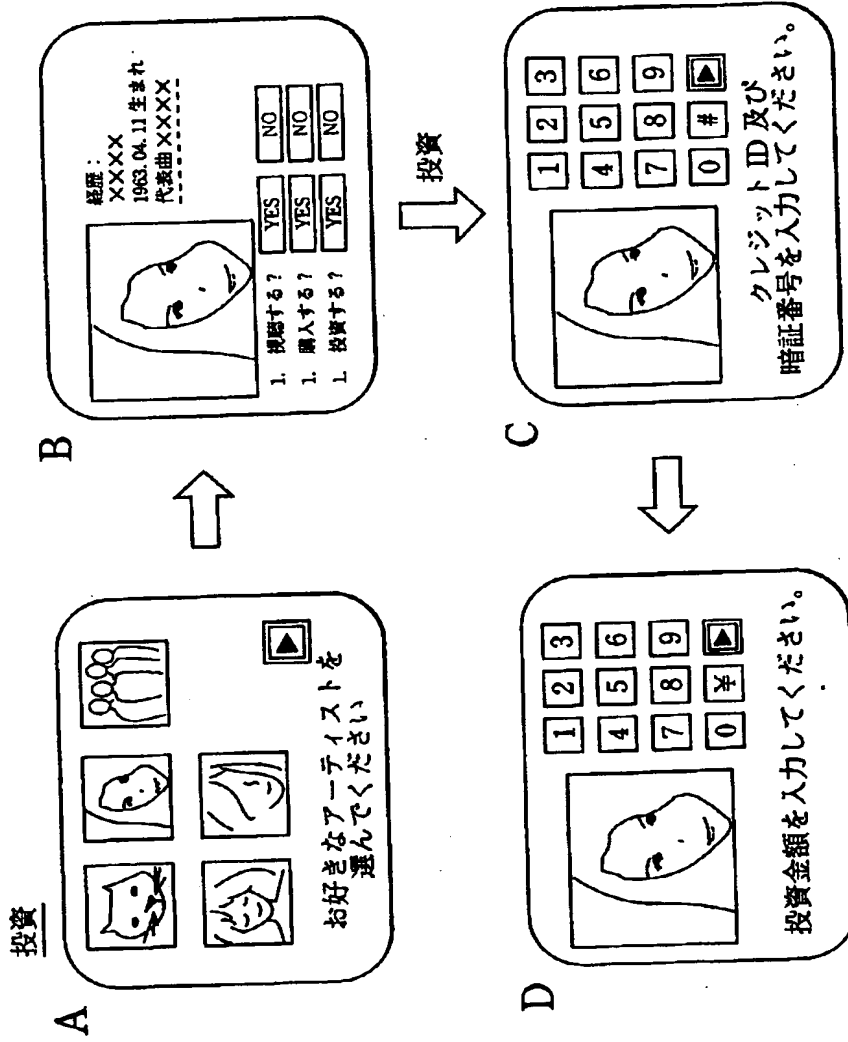


【図8】

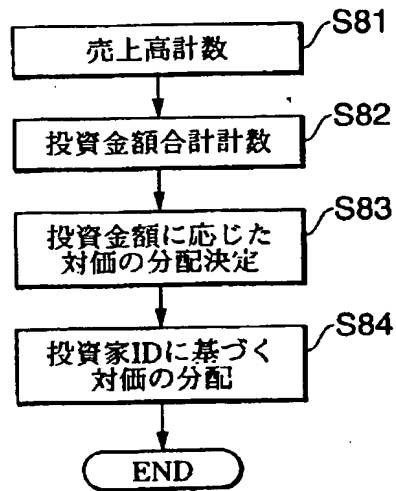




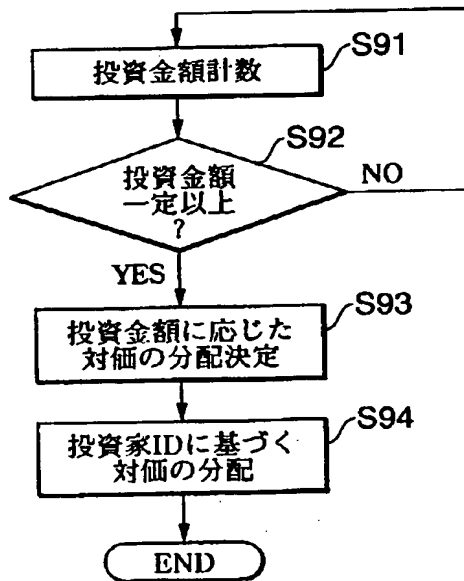
【図9】



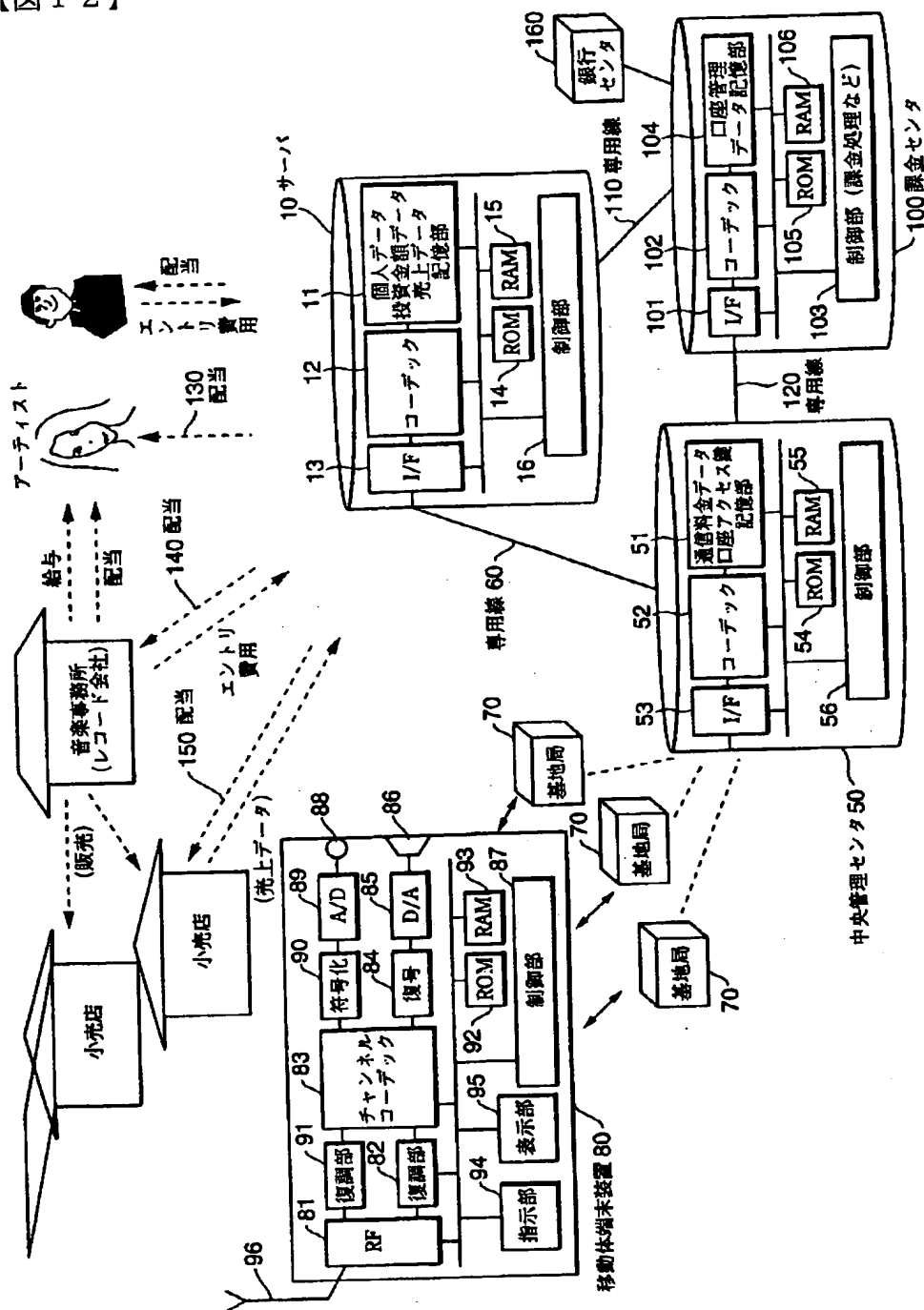
【図10】



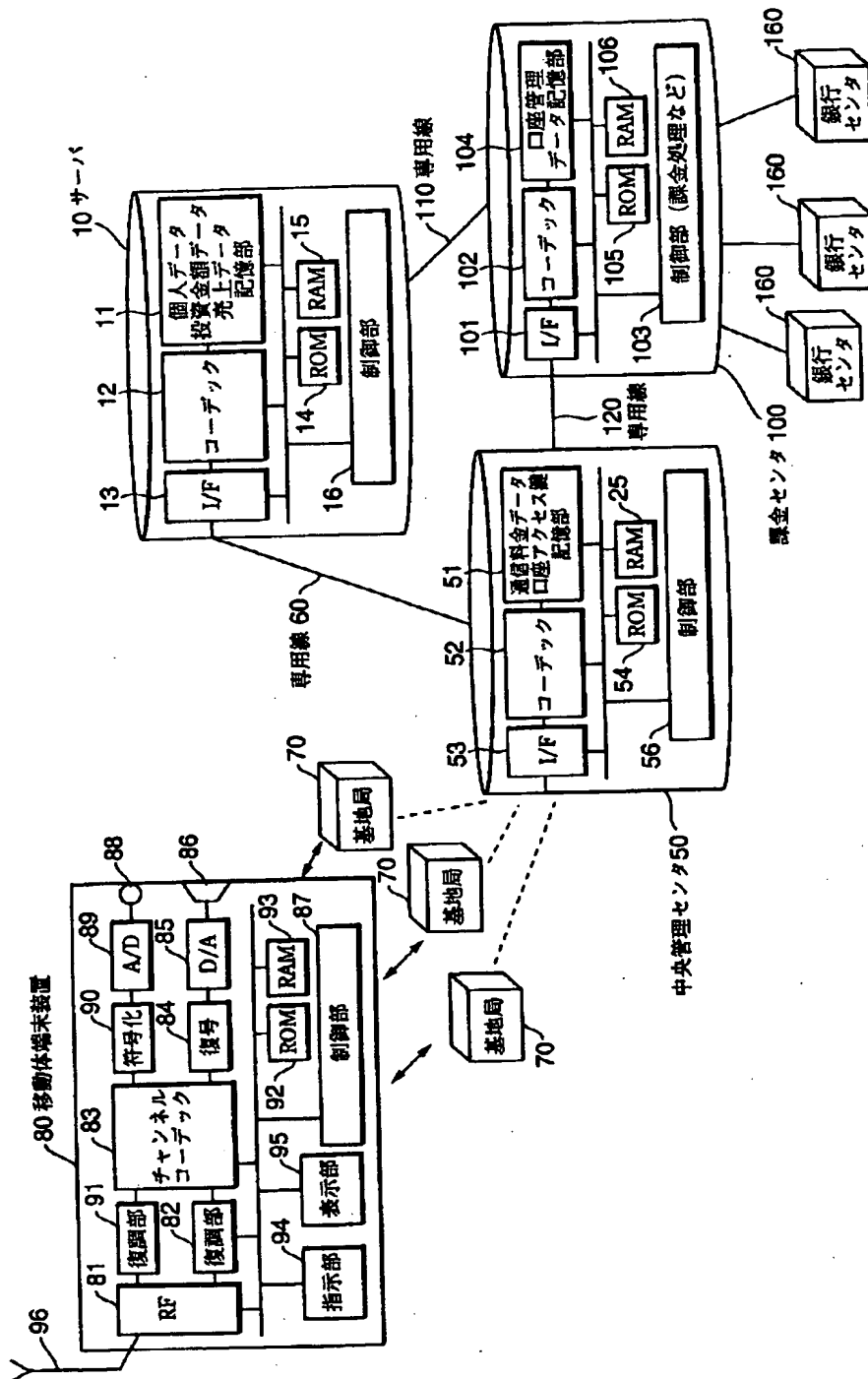
【図11】



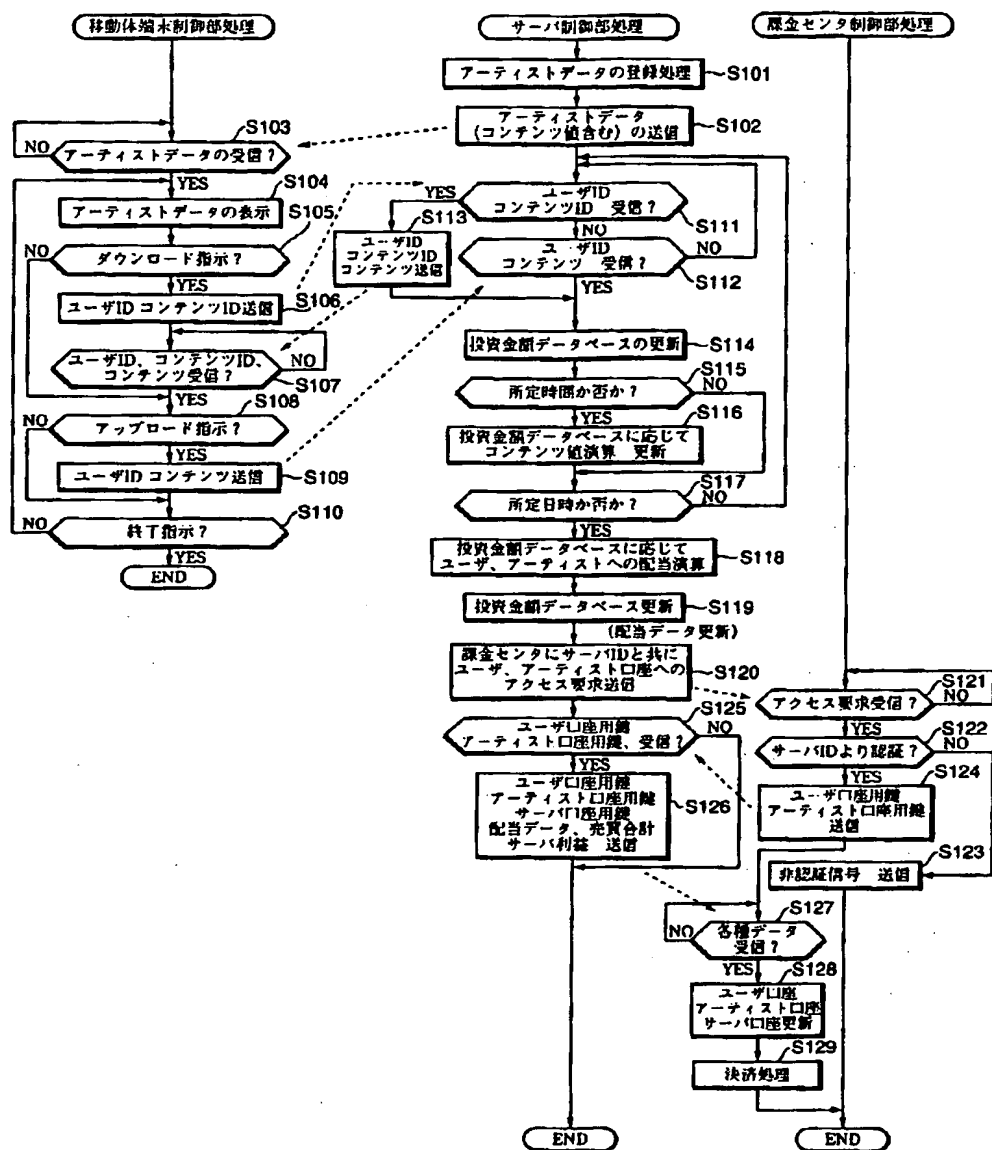
【図 12】



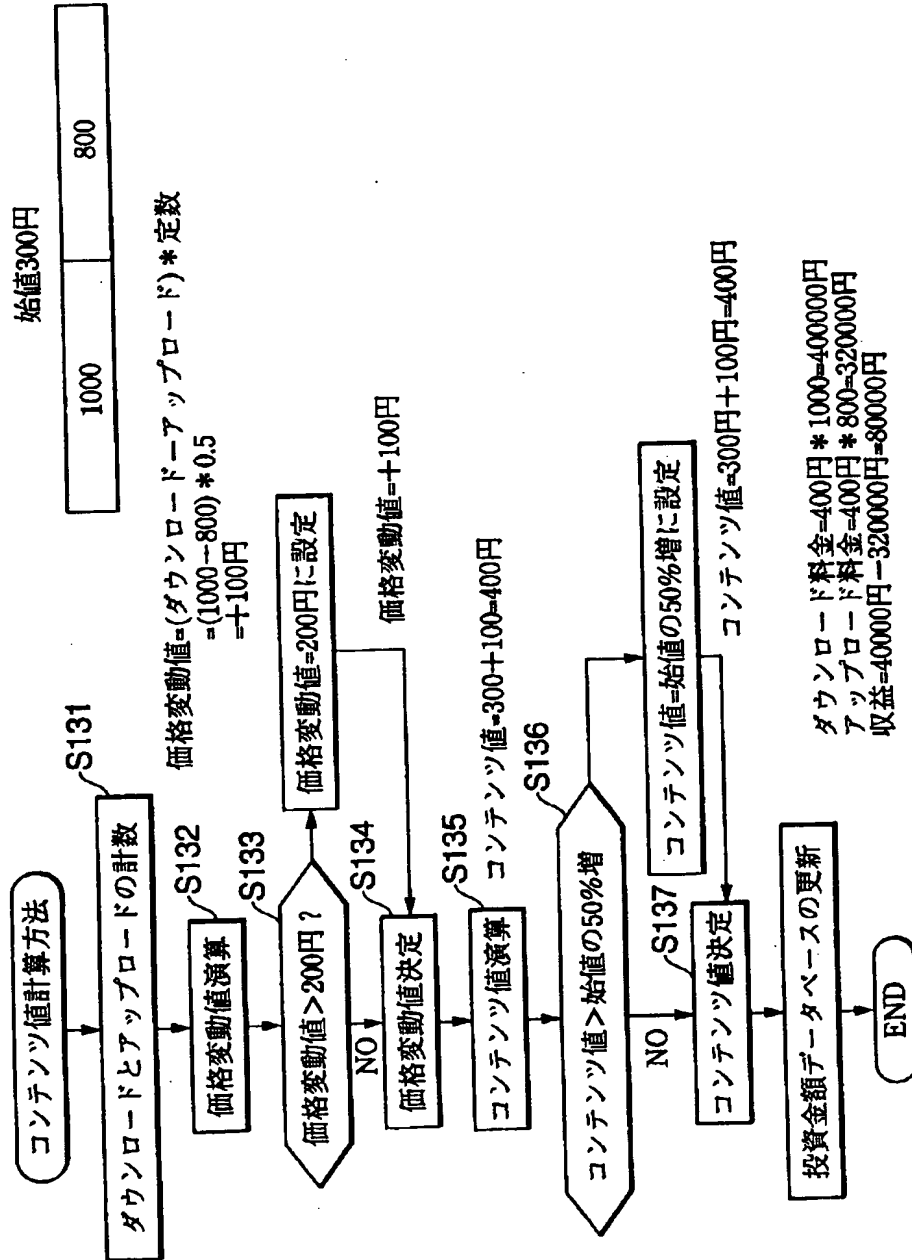
【図13】



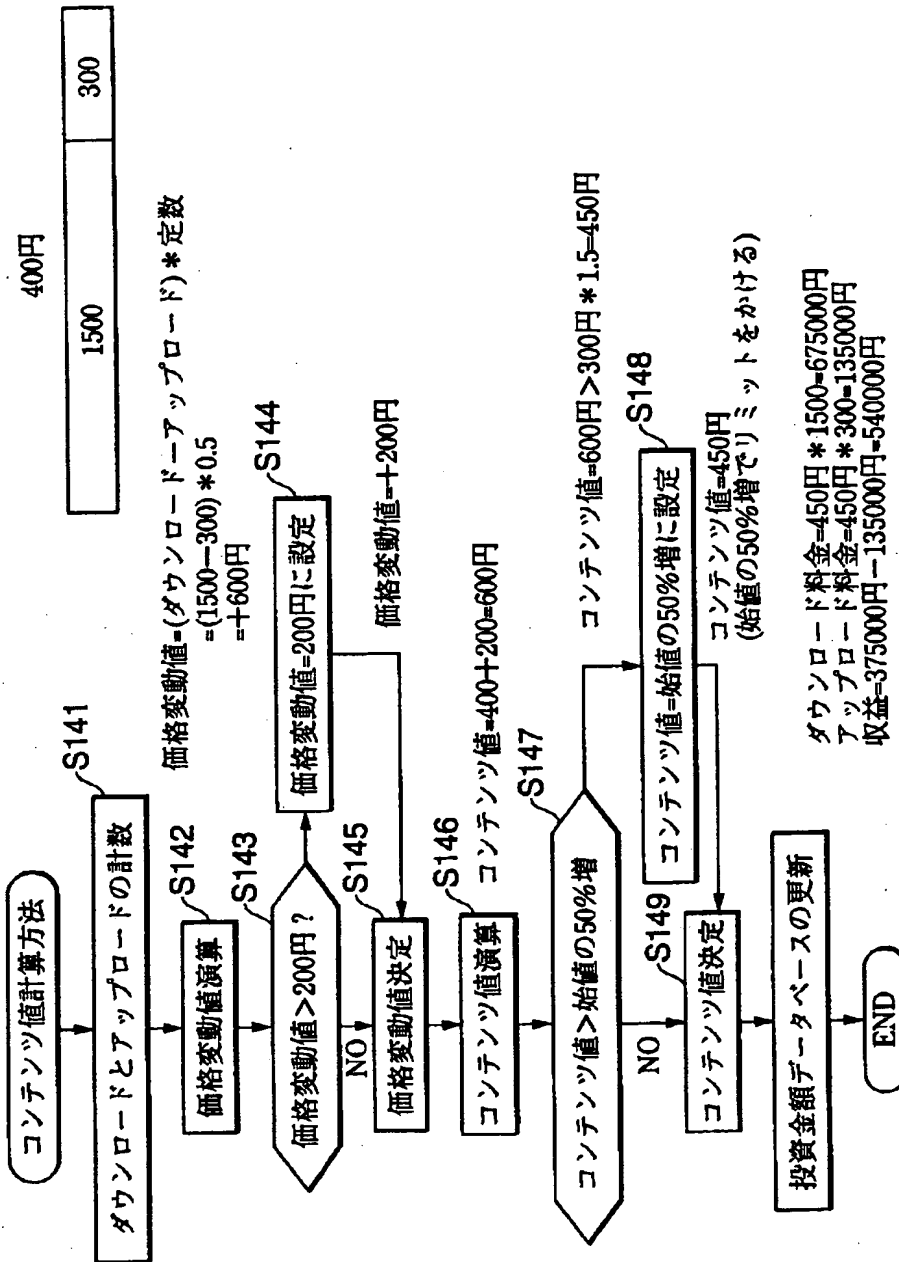
【図14】



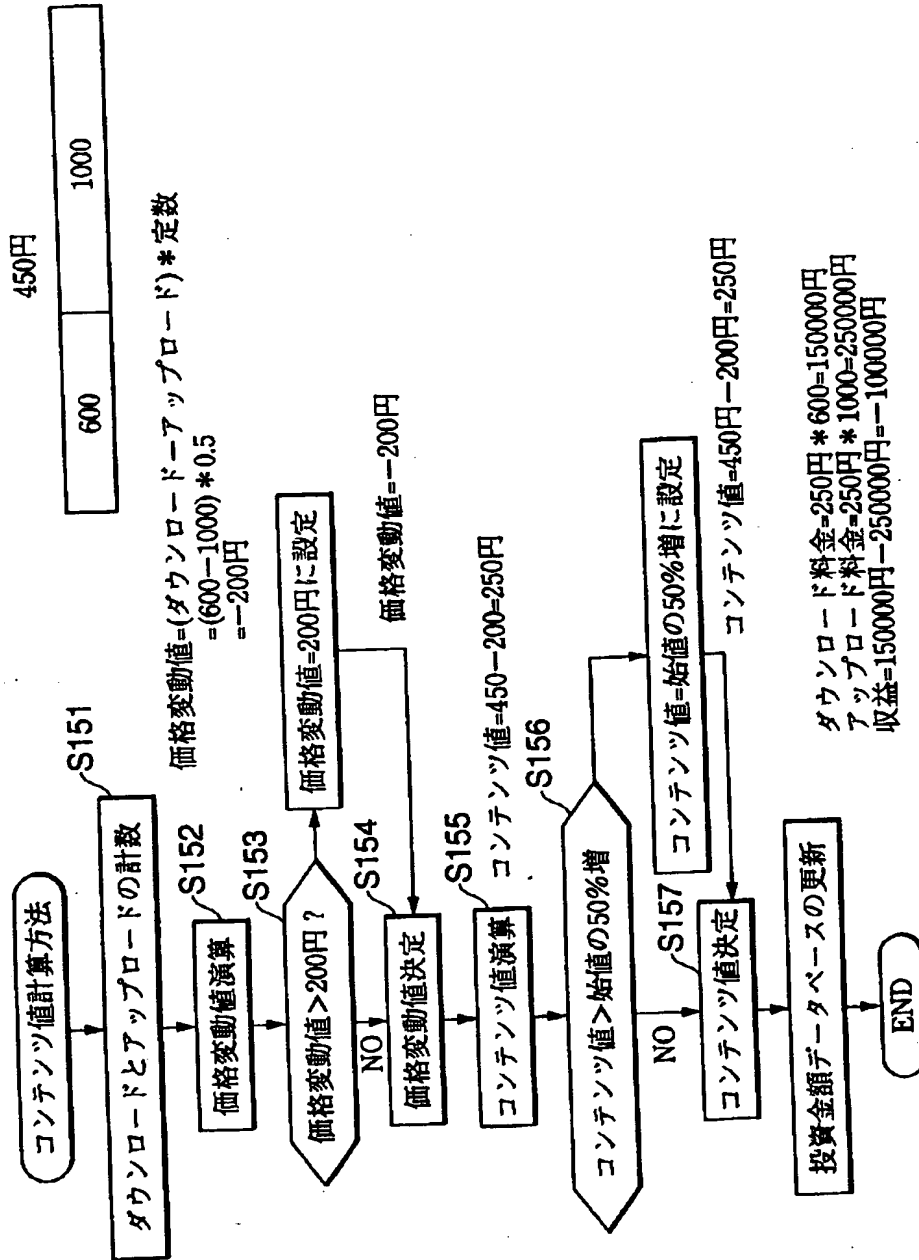
【図 15】



【図16】

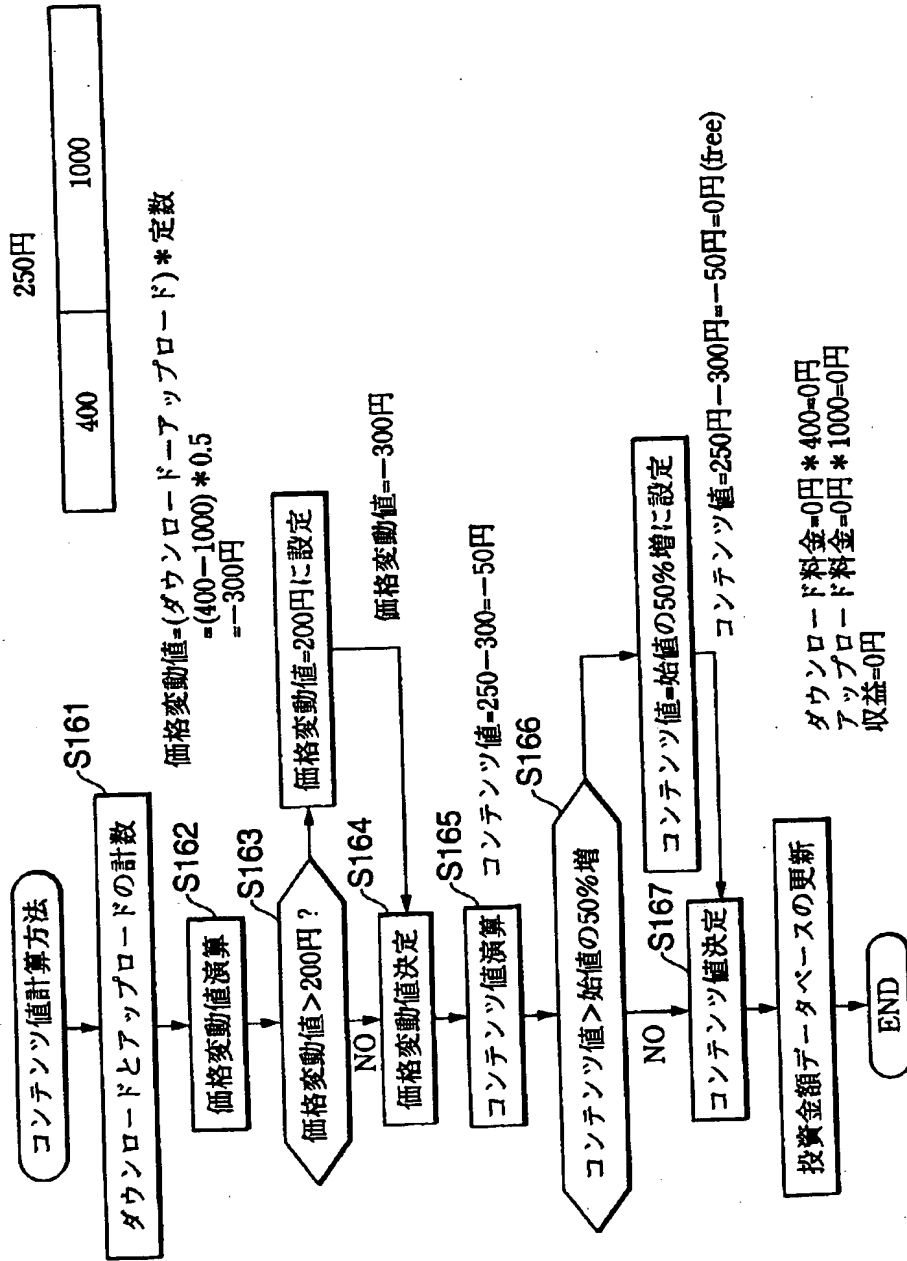


【図 17】

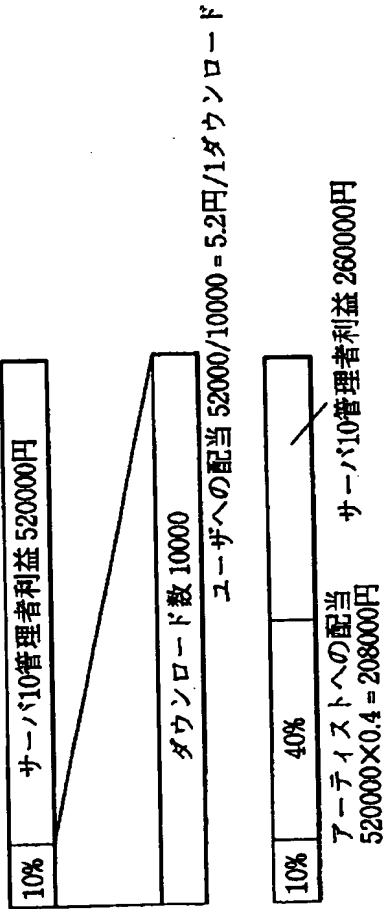




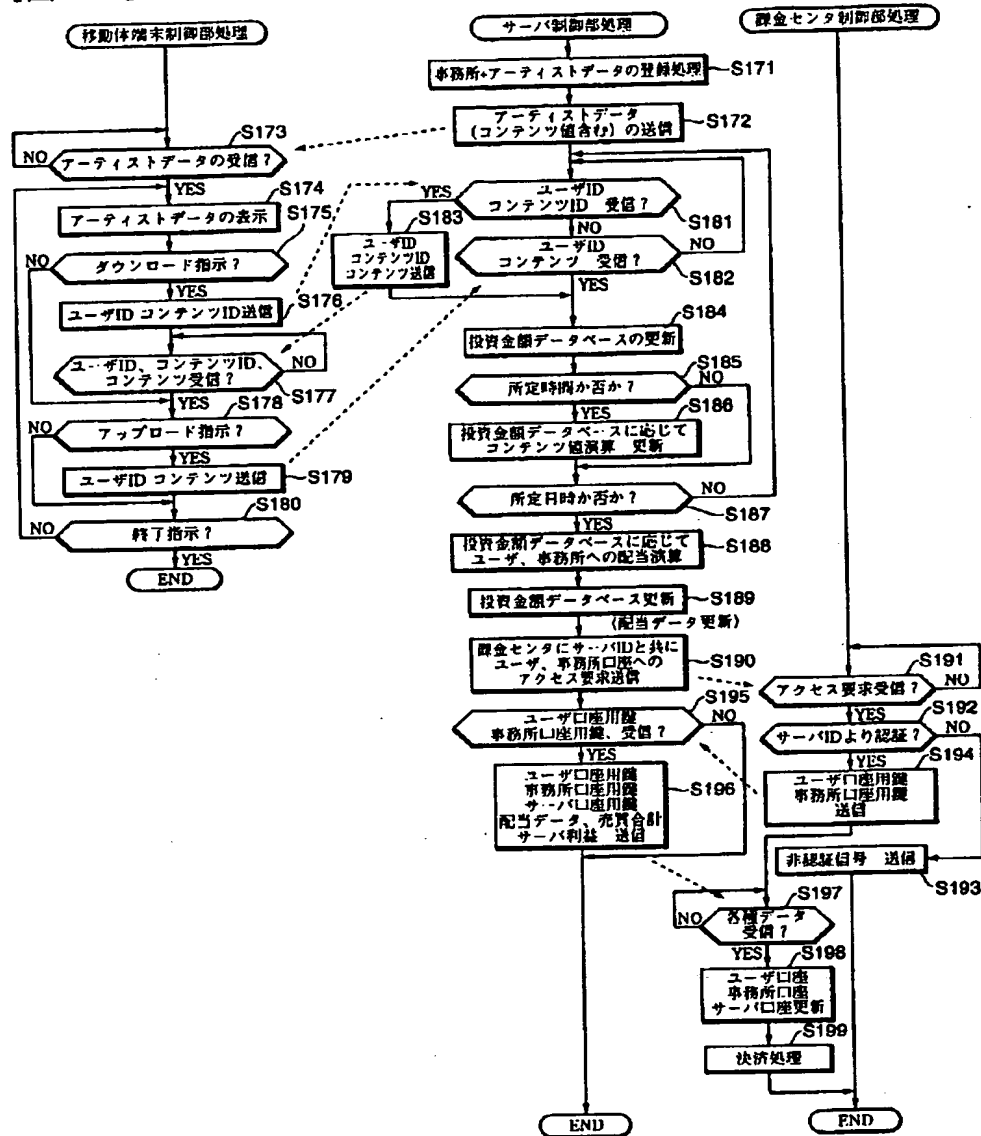
【図 18】



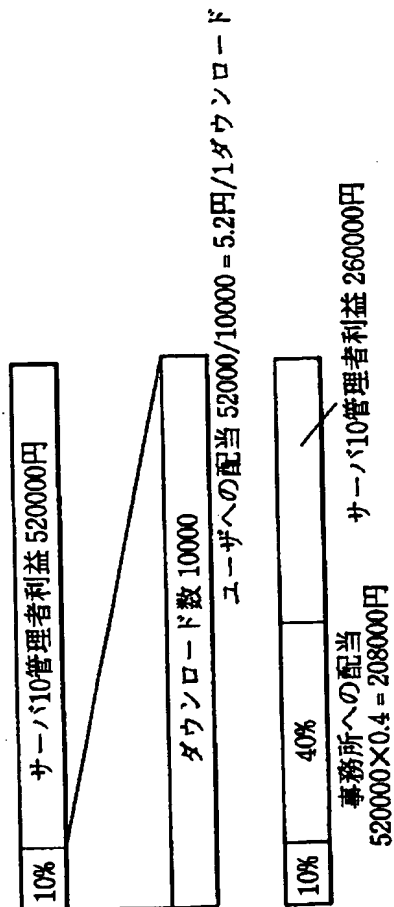
【図 19】



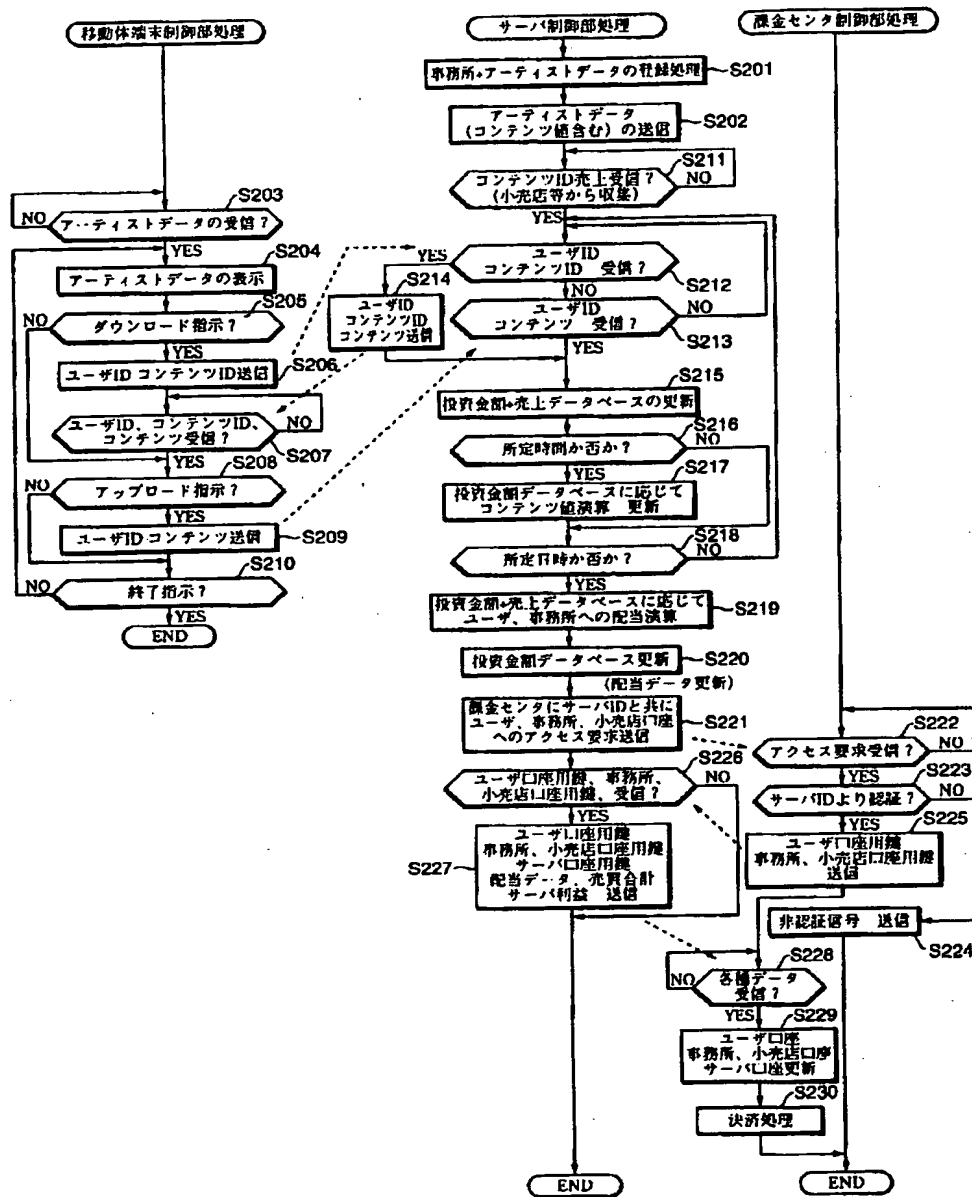
【図 20】



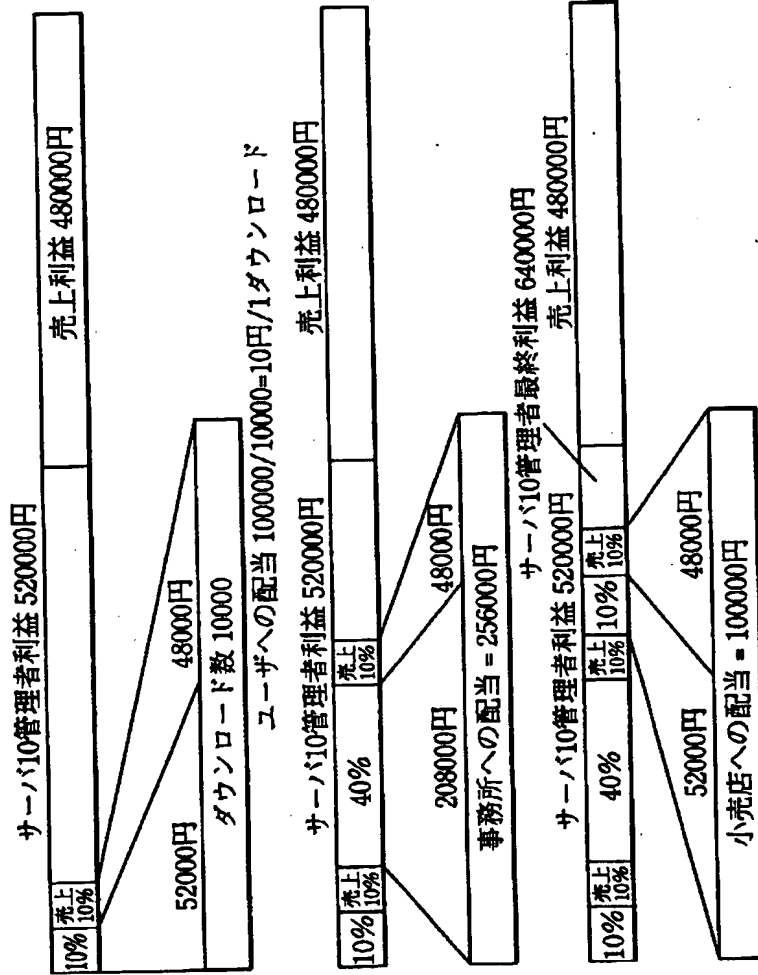
【図 2 1】



【図 22】



【図23】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 インターネット等のネットワークを利用して、例えばアーティスト、曲等に投資することができる新規な投資システムを提供する。

【解決手段】 サーバ装置10は、例えば楽曲データ、アーティストに関するデータからなる少なくとも1つの投資対象データを蓄積し、投資クライアント装置20は、サーバ装置10にアクセスして、投資対象データをダウンロードするとともに、利用者が将来有望と思われるアーティストやヒットすると思われる楽曲に対する投資データをサーバ装置10に送信する。

【選択図】 図1

認定・付加情報

特許出願の番号	特願 2000-115772
受付番号	50005027081
書類名	特許願
担当官	第八担当上席 0097
作成日	平成12年 4月17日

<認定情報・付加情報>

【特許出願人】

【識別番号】

000002185

【住所又は居所】

東京都品川区北品川6丁目7番35号

【氏名又は名称】

ソニー株式会社

【代理人】

申請人

【識別番号】

100067736

【住所又は居所】

東京都港区虎ノ門2-6-4 第11森ビル 小池国際特許事務所

【氏名又は名称】

小池 晃

【選任した代理人】

【識別番号】

100086335

【住所又は居所】

東京都港区虎ノ門2丁目6番4号 第11森ビル  
小池国際特許事務所

【氏名又は名称】

田村 榮一

【選任した代理人】

【識別番号】

100096677

【住所又は居所】

東京都港区虎ノ門二丁目6番4号 第11森ビル  
小池国際特許事務所

【氏名又は名称】

伊賀 誠司



【書類名】 手続補正書  
【提出日】 平成12年 6月 5日  
【あて先】 特許庁長官 殿  
【事件の表示】

【出願番号】 特願2000-115772

【補正をする者】

【識別番号】 000002185  
【氏名又は名称】 ソニー株式会社  
【代表者】 出井 伸之

【代理人】

【識別番号】 100067736

【弁理士】

【氏名又は名称】 小池 晃

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許願  
【補正対象項目名】 発明者  
【補正方法】 変更

【補正の内容】

【発明者】

【住所又は居所】 東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社  
内

【氏名】 石井 美留香

【その他】 訂正の理由 本件出願に係る願書の発明者の欄に記載される発明者を訂正するに至った原因は、出願人より示された発明報告書には「石井 美留香、丹下 明」の氏名が記載されていたために、本件願書を電子情報処理組織において入力するに際し、この記載に基づいて出願手続を行ったことに起因するものです。 しかしながら、今般出願人より、本件願書に記載されるべき真の発明者は

特 2 0 0 0 - 1 1 5 7 7 2

、同日付で提出する手続補足書に添付した宣誓書からも  
明らかな通り「石井 美留香」1名である旨の連絡を受  
けました。そこで、本件願書の発明者の欄の記載を上  
記の通り、正しい発明者である「石井 美留香」に訂正  
いたします。 特許出願番号：特願 2 0 0 0 - 1 1 5 7  
7 2 発明の名称：投資システム

代理人 弁理士 小池

晃

【ブルーフの要否】 要

認定・付加情報

特許出願の番号	特願2000-115772
受付番号	50000696756
書類名	手続補正書
担当官	佐藤 一博 1909
作成日	平成12年 7月24日

<認定情報・付加情報>

【補正をする者】

【識別番号】

000002185

【住所又は居所】

東京都品川区北品川6丁目7番35号

【氏名又は名称】

ソニー株式会社

【代理人】

申請人

【識別番号】

100067736

【住所又は居所】

東京都港区虎ノ門2-6-4 第11森ビル 小  
池国際特許事務所

【氏名又は名称】

小池 晃

特2000-115772

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[000002185]

1. 変更年月日

1990年 8月30日

[変更理由]

新規登録

住 所

東京都品川区北品川6丁目7番35号

氏 名

ソニー株式会社